

令和 6 年度
事業報告書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ
短期入所生活介護 (ショートステイ)

目 次

1、事業報告（総括）	2
2、職員構成	4
3、主な会議・委員会等開催状況報告	5
4、職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理	5
5、利用者外出・外泊・面会状況	6
6、保険者別入退所状況	7
7、看護	8
8、生活相談員	9
9、介護支援専門員	10
10、1階・2階・3階フロアー	12
11、リハビリ	16
12、栄養	17
13、職員外部研修参加状況	18
14、内部研修	19
15、苦情・事故・排泄・委員会報告	20
16、忘年会・職員旅行報告	22
17、クラブ活動	23
18、防災・使用物品等	26
19、シーツ等リネン類の発注管理・おむつ等管理	26
20、年間行事の実施状況	27
21、ボランティア・実習生・研修生受け入れ	28
22、地域交流参加等の状況	28
令和6年度短期入所生活介護事業報告	29

事業報告（総括）

理事長、統括施設長、施設顧問医師のご指導の下、「その人らしく生活できる環境づくり」という法人理念に基づいて「笑顔の絶えない大きな家庭」の実現に向けて努力を重ねました。特に令和 6 年度は「耳を傾け、心を傾け寄り添う介護」という合言葉の下に職員一同それぞれの業務に取り組みました。

感染症については、コロナが 5 類になって 1 年が経過し、期間中に行っていた制限を徐々に解除し以前の生活を取り戻すことができるようになりました。面会は、お部屋で会って頂くことができる様になり、利用者様のご家族と外出されるケースも増えました。ボランティアの受け入れを始め地域交流も再開しています。

感染予防に関して、毎月感染症対策会議と衛生会議を開催し、施設顧問医師の指導を頂き、職員全体の感染に対する意識、知識の向上を図る事ができました。近隣の施設、病院、学校等では、まだ感染症の発症が聞かれていたので、標準感染予防策を実施し緊張感を持って業務にあたりました。施設内でのコロナの感染者はなく、インフルエンザは 1 度、数人の方に発症が見られましたが、蔓延することはありませんでした。感染対策に 1 年を通して取り組んだ成果だと思います。

入所退所に関しては、令和 6 年度も多くの方から入所の問い合わせをいただきました。年間で 28 名の方が特養に入所、退所者も 28 名でした。令和 6 年の秋から年末にかけて、入院者、退所者が続き、年が明けて 3 ヶ月の間に 13 名の入所者をお迎えすることができましたが、年間平均稼働率の低下を解消することができませんでした。

理事長ご指導の下、市や区の担当者、居宅介護支援事業所、病院等、様々な事業所へ施設の紹介や入所の案内等を開始させて頂いています。次年度は年間を通しての入所稼働率高位安定を目指します。

1 年間の延べ利用者数は 35440 人、1 日平均 97 人の利用者様にケアを提供させていただいた結果になりました。令和 6 年 3 月 31 日時点での要介護度については、要介護 3 の方が 13 名、要介護 4 の方が 38 名、要介護 5 の方が 49 名でした。要介護 5 の利用者様の割合は約半数を占めており、利用者様の重度化傾向が続いていました。平均要介護は 4.41 でした。利用者様の重度化が進む中、施設顧問医師の指導を受け、多職種連携し利用者様の体調変化に早く気づき、その後の適切な対応につなげるよう努力いたしました。

看取り介護（ターミナルケア）に関しては、施設顧問医師の指導の下、お一人お一人の最後に寄り添い、その方らしい最後が支援出来たと感じています。年間を通して 27 名の方を看取らせて頂きました。ご家族様からは「あたたかい施設で良かった」等、感謝の言葉や満足の言葉を頂き、職員の励みにもなりました。

職員のやる気向上については、職員が法人の資格取得支援制度を活用し、介護支援専門員、介護福祉士の資格取得に取り組んでいます。制度を利用する職員が増え、職員のスキルアップに繋がっています。

職員それぞれの資質の向上を図るべく、内部研修を 1 ヶ月に 2 回定期的に行いました。職員自身が講師になることで一人一人がより深い知識と実践的な技術の習得に努める事が出来ています。

また、福陽会の理念の一つである「季節感のある行事」に力を注ぎました。今年度も様々な行事を実施することが出来ました。近隣地域の方々に慰問に来て頂きました。利用者様の笑顔が多く見られ、利用者様も職員も共に楽しい時間を持つことができました。引きつづき利用者様の笑顔があふれる季節感のある行事を行ってまいります。

地域との交流については、介護福祉士の専門学校の実習生(外国人留学生)の受け入れ、大学生の介護等体験や中学生の職場体験、特別支援学校の職場体験、介護福祉士初任者研修の施設実習を受け入れました。地域連携の一環として、福生市の体験ボランティアや個人ボランティアも受け入れることができました。

環境整備として、施設利用者様により快適に生活して頂けるようにと、理事長、統括施設長、施設顧問医師のお考えで、一般浴室から機械浴室への改装やエアコンの新規設置や交換等、他各所の修繕を実施して頂き、利用者様の生活環境の充実は勿論、職員の働きやすさにも繋がる事が出来ました。

理事長指導の下、外国人の介護人材受け入れ事業を開始し、日本語学校から 2 人の学生アルバイトの受け入れを開始

しました。その内一人は技能実習生として職員で採用となりました。

職員の定着が重要と考え、働きやすい環境づくりに向けて今後も努力致します。次年度もより良い施設づくりを、職員一丸となって取り組んで参ります。

・各月の利用者数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2985	3069	2973	2945	2994	2841	3006	2910	2970	2920	2675	3152	35440

職 員 構 成

令和 7 年 3 月 31 日現在

担 当 職	職 名	職 員	非 常 勤
運 営 管 理	施 設 顧 問 医	—	1
	産 業 医	—	1（外部委託）
	施 設 長	1	—
	相 談 役	1	—
経 理	事 務 主 任	—	—
	事 務 員	2	0
保 守 管 理	介 助 員	—	2
介 護	生 活 相 談 員	2 1（兼務）	1
	ケアマネージャー	2（兼務）	1（兼務）
	1 F	リーダー	2
		サブリーダー	
		担 当 者	
	2 F	リーダー	7
		サブリーダー	
		担 当 者	
	3 F	リーダー	7
		サブリーダー	
		担 当 者	
医 務	医 師	—	1（施設顧問医師） 2（外部委託医師）
	看 護 リーダー	2	—
	看 護 師	3	1
	准 看 護 師	—	1
調 理	管 理 栄 養 士	1	—
	栄 養 士	1	—
	調 理 リーダー	1	2
	調 理 員	4	
機 能 訓 練	柔 道 整 復 師	1	—
	理 学 療 法 士	—	

主な会議・委員会等開催状況報告

・運営会議	12 回	・衛生委員会	12 回
・行事計画会議	12 回	・衛生会議	12 回
・感染症対策会議	15 回	・厨房委員会	12 回
・ケアプラン会議	50 回	・褥瘡防止委員会	12 回
・全体会議	12 回	・利用者懇談会	6 回
・入所判定会議	30 回	・事故防止委員会	12 回
・事故防止会議	27 回	・看護と介護の連携委員会	12 回
・看取り介護会議	53 回	・業務継続委員会	12 回
・虐待防止会議	12 回	・科学的介護推進委員会	12 回
・苦情対策会議	12 回	・拘束廃止委員会	12 回
・栄養会議	42 回	・エコ委員会	12 回
・防災会議	12 回	・排泄委員会	6 回
・生産性向上委員会	4 回	・協力医療機関連携会議	12 回

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。
令和6年度は5月に65名、11月に3名、令和6年12月に夜勤業務を行う職員等24名でした。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するものや感染症の防止に関する情報・食中毒やストレスに関する情報等のプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施していただいています。

(4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行い、コロナ感染症等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針やマニュアルを踏まえ各職員が「即」行動できるように取り組みました。

インフルエンザ予防接種はアレルギーで接種の出来ない職員以外の54名行いました。65歳以上の職員は12名行いました。

② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続し、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備は、早めの報告により事故発生の防止に努めています。職員の事故防止の為に設備備品の点検を行い不備や不具合の改善にできる限り迅速に対応しました。

また、施設内の巡視を定期的に行いました。

(5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員令和6年10月に65名全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。今後も産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を拾い上げる視野で状態を把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画の作成をしていきます。

利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1 日平均
4	63	10	0	0	41	118	3.9
5	26	5	0	0	58	135	4.4
6	2	2	0	0	28	67	2.2
7	0	0	0	0	34	101	3.3
8	1	1	0	0	48	136	4.4
9	4	1	0	0	42	127	4.2
10	15	2	0	0	39	144	4.6
11	18	3	0	0	49	151	5.0
12	2	2	0	0	46	150	4.8
1	12	1	0	0	45	160	5.2
2	0	0	0	0	40	164	5.9
3	10	2	0	0	36	180	5.8
合 計	153	29	0	0	506	1633	

感染症の感染防止の観点から面会方法を工夫したりとしながらの面会でした。
 面会時に施設の状況を理解していただき面会方法に協力していただきました。
 ご家族様等には感謝申し上げます。

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市			2	2	0	4
あきる野市			0	1	0	1
成田市			0	1	0	1
小平市			0	1	0	1
府中市	0	2			2	0
東伊豆町		1			1	0
日野市	1	0			1	0
昭島市	0	2			2	0
調布市			1	0	0	1
瑞穂町			1	0	0	1
新宿区		1			1	0
立川市	0	1			1	0
福生市	4	13	4	11	17	15
世田谷区			0	1	0	1
中野区			1	0	0	1
練馬区	0	1	0	1	1	1
江戸川区	0	1			1	0
武蔵村山市	0	1			1	0
西東京市				1		1
合計	5	24	9	17	28	28

看 護

- 1、医務診察 定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理の実施。

- ① 内科 金曜日 青山美穂医師 内科（施設顧問医師）・木曜日 若杉優子医師 内科
- ② 精神科 月曜日 高妻雅和医師 精神科
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師 歯科
- ④ 週末や病院の休みの時は病棟に繋げていただき当直医に指示をいただく。

2、利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告実施。
- ② 年一回の利用者健康診断を 98 名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。
健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。
また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。
- ⑤ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑥ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（93 名）
- ⑦ 利用者様・ご家族様の希望を確認し、新型コロナウイルス予防接種 を実施しました。（7 回目 2024 年 12 月 5 日 87 名実施。 未接種 9 名）
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職に指導し依頼しています。

3、口腔ケアの実施 利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。

歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・生活相談員・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の 防止に役立ちました。

新型コロナウイルスの防止対策の実施によりアイデンタルでの口腔ケアについては その時々で相談しながら進めました。

4、職員定期健康診断

- ① 職員は健康診断を受けました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師から個人面談指導がありました。
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は接種しました。

5、感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの厳守により全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症を持ち込まない、運ばないという意識をもち、全職員が感染対策の基本をしっかりと

りに行っていました。

今後においても標準感染予防策の徹底と意識の向上に努めていきます。

6、看取り介護の充実

- ① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。
- ② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取介護を行いました。
令和6年度は27名の方を施設で看取らせていただきました。
利用者様及びご家族等の意向を尊重し多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。

7、褥瘡予防

- ① 施設での褥瘡発生がありました（1名対象利用者様は継続処置しています）
- ② DESIGN-Rによりアセスメントし、計画的に対策を実施しました。
- ③ 急な状態の変化と繰り返しの方があり、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立て予防するようにします。
- ④ 処置内容の確認は随時主治医に確認して正しい治療を利用者様が受けられるようにしています。
- ⑤ 予防と知識の共有は勉強会を活用し知識の共有をしています。

8、その他

- ① 利用者様の心身の変化時等のご家族等に連絡しその内容等は生活相談員が同席して記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症を確認し、医師に報告し概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生活相談員

令和6年度は、施設の全体目標「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」を実現できるよう、私たち生活相談員も日々の業務に取り組んできました。年度の後半に生活相談員の人数が増え、フロアー担当制に移行しました。

それぞれが担当フロアーの利用者様に深く関わり、利用者様の声と思いを汲み上げるよう、取り組んできました。

- ・入所と退所に関して、令和6年度も、多くの方から入所の問い合わせをいただきました。施設をお探しの個人の方、病院や老健、居宅介護支援事業所、市や区の担当者等の入所相談、入所申込みを受け付け、特養ガイドからの申込みも多数ありました。年間で令和6年度に、28名の方が特養に入所されました。

内訳としては医療機関から12名、居宅から8名、介護老人保健施設から7名、その他の施設から1名でした。また、退所者は28名でした。1名の方は医療機関に入院され、そのまま退所となりました。

した。それ以外の 27 名の利用者様は施設で看取らせていただきました。令和 6 年の秋から年末にかけて、退所者が続きました。

年が明けて 3 ヶ月の間に 13 名の入所者をお迎えすることができましたが、年間平均稼働率の低下を解消することができませんでした。

- ・生活相談員の主要な業務の一つである相談援助に関しては、全体目標「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」を特に意識して取り組みました。毎日の申し送りに参加し、記録から情報を把握し、また実際ご本人に会って声をかけ、個々の利用者様の変化を捉えるようにしました。大きな変化がない方に対しても、フロアーをまわる時間を作り、挨拶し、気持ちを伺うようにしました。特に言葉で表現することが難しい方に対しては、生活の様子や表情から心を汲み取るよう努めました。医療的な変化が生じた時は家族への連絡は医務と連携を図って行いました。他に衣類や物品等の補充に関する連絡や感染症の予防接種のお知らせと同意の確認、その他の連絡も行いました。面会の予約受付と面会時の対応も行ない、昨年と比べて、多くのご家族に居室で面会していただくことができました。また、利用者様のご家族と外出されるケースも増えました。
- ・令和 6 年度は、行事やクラブ活動、外出の機会を増やすことが目標でした。新型コロナが 5 類になったとはいえ、近隣の施設ではコロナやインフルエンザの感染が続いており感染予防の対策は継続していました。そのため、外出は散歩や近場へのドライブが中心で、コロナ前のような遠出はまだできませんでした。しかし、福陽会の理念の一つである「季節感のある行事」に力を注ぎ、三人行事や小行事で利用者様に楽しんでいただくことができました。こうした行事やクラブ活動、散歩等の機会に写真を撮って、広報誌「サンシャインビラだより」やホームページに掲載し、ご家族の皆様に施設での生活の様子と利用者様の笑顔をお届けしました。月に一度の「手作りおやつ」や隔月開催の「利用者懇談会」も生活相談員が中心になって行いました。
- ・特養の果たすべき役割の一つとして、介護福祉士の専門学校の実習生(外国人留学生)の受け入れ、大学生の介護等体験や中学生の職場体験、特別支援学校の職場体験、介護福祉士初任者研修の施設実習を受け入れました。地域連携の一環として、福生市の「2024 夏！体験ボランティア」や個人ボランティアも受け入れることができました。
- ・行政への様々な届出として、加算の算定と国保連への請求業務、入退所状況に関する福祉保険局への報告、LIFE データの送信等を、年間を通して適切に行うことができました。

介護支援専門員

本年度の合言葉である「耳に傾け、心を傾け、寄り添う介護」という事を念頭に置きをケアプランの作成に反映できるよう意識しました。

利用者様のお話を傾聴する姿勢を崩さずにそのうえ感染予防にも配慮しました。

- ・多職種で協力し、その方らしい生活を重点に考えてプランを作成しました。
- ・3 ヶ月毎の見直しは漏れなく行えました。業務負担軽減の為、10 月からは更新期間を 6 ヶ月毎に

変更し、順調に移行することができました。状態変化に伴う変更も随時実施しました。

- ・状態と介護保険区分の隔たりがあった際は、速やかに区分変更申請を行い、現状に合った介護度になるように努めました。
- ・ターミナルケア（看取り介護）、褥瘡ケア、適宜プラン作成が行えました。ターミナルケアの振り返りは、ひとつひとつのケースにつき検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。（令和 7 年 3 月 31 日現在ターミナルケア対象者 9 名、令和 6 年度のお看取り 28 名）
- ・褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、生活の様子も鑑み、褥瘡を作らない事を前提に予防対策を設定し実施しました。万が一出来てしまった褥瘡については創部改善に各部署連携して取り組むというプランを作成します。
- ・ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応を行えるように努めました。
ショートステイ利用中の方で入所のご希望があった際は、本入所に繋げ、稼働率の向上に寄与しました。
- ・介護保険の更新申請と認定調査への立ち合いは、コロナ蔓延時は窓越し面会での実施でしたが、今年度は直接面会で実施することができ、調査に立ち合いました。
- ・ケアプラン会議へのご本人の参加は、全員ではないですが、少しずつ再開しました。ご家族様等の参加は、感染予防のため実施できませんでした。ご家族様のご意見やご要望は事前に聞き取りしました。プラン作成後、面会等のご来訪時に説明やご署名をいただく、もしくは電話で説明し、書面の郵送でのやり取りになりました。

令和 6 年度 計画書作成件数

月	定期	見直し	看取り	入所	ショート	退院	振り返り	合計
4	15	12	9	2	2	0	1	41
5	18	15	6	2	0	0	3	44
6	15	18	4	0	1	0	0	38
7	9	17	10	1	2	3	0	42
8	21	16	11	0	0	3	2	53
9	12	13	5	1	0	1	1	33
10	16	12	7	3	0	0	1	39
11	17	19	8	1	1	2	4	33
12	10	9	8	3	2	1	1	52
1	13	0	9	4	2	1	2	31
2	13	0	13	5	2	1	1	35
3	8	0	3	4	2	1	4	22
総数	167	131	93	26	14	13	20	464

1 階 フ ロ ア

「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」の目標に対し、フロアー全体を通して傾聴の姿勢を忘れず、利用者様一人一人の事を考え行動、寄り添う介護を実践出来た。

- 1、介護力、職員のモチベーションの維持を向上について各職員に居室担当の意識を様々な機会を設け以前より各職員が担当利用者様を考え、行動が出来たと思います。定期的にフロアミーティングが行えないことがあった為、次年度は定期的に開催出来るようシフト調整を行ったり、確実に出来るようにして行きたい。
- 2、感染症対策では施設内での感染症対策をマニュアル通り行い、一年間で感染症蔓延はなく職員一人一人が確実に標準感染予防策を徹底した結果である。
- 3、フロアー活動において、制作クラブでの作品を委員中心に利用者様にも手伝って頂きながら様々な作品を残せました。空いた時間にはカラオケ等も実施し、利用者様の笑顔を引き出せたと思います。
- 4、事故防止において、一階フロアーでは一年を通して様々なヒヤリハット、アクシデントがありました。一つ一つ他職種協働でカンファレンスを行い、再発防止に努めました。
また、口腔ケアにおいても一人一人の介助方法を考え、衛生管理と誤嚥事故の防止にも努めました。
- 5、褥瘡予防において、様々なケアの中で早期発見出来る様に医務課と連携し対処を行って来ました。体位変換やクッションの当て方などフロアーで統一し「褥瘡ゼロ」を行いました。
- 6、非常災害の為の準備（火災、震災、水害、犯罪、感染症等）において、フロアーの整理整頓、環境整備に努め、職員間での防災用品の周知徹底し、有事に備えました。
施設全体でもシュミレーション訓練を行い、非常時の際の準備を行っています。
- 7、看取りケアでは 安心、安楽を重視し「その方らしく」「その方が望む最期」を考え介護を実施しました。
また、他職種協働で手厚い介護サービスを実施し、ご家族様にも寄り添いケアを行いました。

2 階 フ ロ ア

「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」を目標にみんなで取り組みを行いました。

① 介護力、職員のモチベーションの維持向上

介護従事者としての自覚を求め、現場で必要とされる人間力を備えた専門性の高い職員の育成に取り組みました。職員一人ひとりが自分の役割を理解しまた正しい事を指摘できる職員が多くなった事で早い段階で改善できる環境や仕事に対してのやりがいに繋げる事が出来ました。

職員だけでなくパート職員も利用者様としっかりと向き合い丁寧に関りを持っている事で利用者様の不満や苦情が減ってきていると感じます、職員が働く場である前にご利用者様の生活の場である事を考えどうしたら今よりも良く出来るかそして働く環境にも目を向け様々な意見が出る環境を今後もしっかりと作り、耳を傾けてみんなでフロアーを作り、向上させていくことで職員のモチベーションアップにつなげて行きたいと思います。

新人職員には先輩職員が手本を示し、指導し教える場面も以前より増えているが根拠のある教え方や正しい基本動作を分かりやすく細かく伝えていく事も理解度に応じて変えていく必要があると感じました、

今後、指導する側の指導育成についても力をいれて行きたいと思います。

正しい介護技術習得の為に、エルダーメンダー制度を活用し精神面も同時に支えながら指導を行う事が出来た。

昨年から一般職員も青山医師の医務診察に参加させて頂き、貴重な経験や介護に対しての意識がより高まり、介護力の質の向上につながっています。

② 感染症予防策

年間を通して標準感染予防策の徹底と、内部研修や衛生会議に参加する事により感染症の意識をより高める事が出来ました。

新人職員にはガウンテクニックの動画を参考に一緒に動作確認を行い実施する事が出来た。

疥癬の発生について、角化型疥癬の陽性者が 1 名あり、他者への感染もありました。保健所の指導助言もらいながら感染拡大を予防するよう、職員一丸となり取り組みました。

他フロアでインフルエンザ陽性者あり、施設長より周知徹底の指示あり、徹底事項①～⑪をフロア内で直ぐに実施した、指示の対応が早く職員の柔軟な対応やスムーズに混乱なく業務移行する事が出来た。

③ フロア活動

各種行事の際は工作等や出し物をレクリエーション担当と工作クラブ、パート職員が日によって主となり、フロア職員と利用者様が一緒に楽しく作る事が出来ました。

外出や散歩も時間を作り、出来る限り実施し、生活の充実が図れるように取り組みました。また利用者様の訴えにも出来るだけ対応し少しの時間でも外の空気や日光を浴びに行く時間を作りながら取り組みました。

毎日の習慣としては昨年から各食事の嚥下体操の実施と、カラオケ機器の活用を行い、フロアの活性化につなげました。

レクリエーションを行う人員と時間については今後もどのように作っていくのかという事を考えていく必要があると思います、そしてフロア内でもレクの大切さをみんなで理解し楽しみの場を多く作っていきけるように今後の課題として取り組んでいきたいと思っています。

④ 事故防止

昨年骨折の事案が 2 件で転倒により事故が発生している、見守りの方法や人員の配置、職員の意識の強化に努め取り組みを行っています。

フロア内での情報の周知徹底、介護技術の指導を行い、再発防止に繋がっている。又、事故防止の一環としてアクシデントの内容を理解し、早期にカンファレンスを行う事で対応策を徹底や日々ケアの統一を図る事で、事故防止予防に繋がっていると思います。

業務マニュアルを見直し、都度変更を繰り返しながら安全に職員・ご利用者が過ごせる様行いました。

職員一人ひとりの事故への意識を高めた事と、知識や技術面の見直しをそれぞれが行った事が事故予防に繋がりました。

安全面に配慮しすぎて利用者様の行動が制限され機能低下につながらないようにリスクも回避しつつその方らしさが失われないように配慮した対応策を講じていけるように職員間でも思いを共有していけるように心がけて実施しました。

⑤褥瘡予防

褥瘡リスクが高いご利用者様には全身状態の観察に努め、変化を早期に発見し多職種連携し褥瘡の発生と悪化の予防に努めました。

体調不良の方でも直に体位交換者にあげクッションやマットレスの確認を行い実施しました、フロアー内においてもリーダーやサブリーダーが不在時には日直や他職員が多職種と連携し一時的な対応を早期に行う事が増えている、全体的に褥瘡の意識が高くなっている。

ベッド上での介助後の姿勢や体位交換のクッションが少し甘いと感じる事もあり、介助の方法や目的、意味を伝えながら実施しましたが今後も継続して伝えていく必要があります。

⑤ 非常災害の準備（火災、震災、水害、犯罪、感染症等）

フロアー内BCP計画の周知を図り実施する事が出来た。

防災用品担当者、排泄用品担当者、感染予防グッズ担当者、環境整備担当者等担当者はそれぞれ年2回物品等の見直しを図り実施する事が出来た。

⑥ 看取りケア

昨年はフロアーで看取る方も多くありましたが、利用者様とご家族様が望む形の最期であるようにという思いでケアに努めさせて頂きました。看取りを経験した職員の精神的な負担も大きくあり、振り返りや内部研修等により、職員への精神面の配慮に努めました。

3 階 フロア

6 年度は、入居者の多くが歩行もしくは、車椅子で自走する認知症の利用者が増えて介護の対応も大きく変更を余儀なく「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」を年間の目標に掲げ取り組んだ。

また、職員の多くが新人であったり介護経験が浅かったりした中で多くの連携をしながら、知恵を出し合い、より利用者に寄り添う介護をに努めた。

① 感染対応

A、昨年度は、東京保健所のマニュアルを基本にフロアでわかりやすい対応マニュアルを作成し、感染発生状況による対応を行い、混乱することなく対応できた。

感染別の見やすいマニュアルにより正しい対応と早い感染対応が出来た。

B、新人職員には新たな感染対応を実施する。新人入職導入部では実施体験しながら研修を行った。

C、医務と連携し、排泄時のシャワーボトルの完全実施、その消毒等ワンランクアップを継続した。

また、口腔ケア時の歯ブラシの取り扱い・定期（一か月）交換管理等清潔に努めた。

② 安全で快適な暮らし

A、ディールームで清潔清掃を継続。定期の空気換気実施。テーブルを利用者同士がコミュニケーションを取りやすい形に変えた。また、利用者の歩行・車椅子での移動がスムーズにいくよう工夫した。

B、定時での居室の施錠チェックを行い、あわせて居室温度・湿度やリネン関連のチェックを行いリセットするようにした。乾燥時には、加湿器の設置や、湿らせたタオル設置等を実施した。

- C、大型テレビを利用した多様な活用を実施。BGM・リハビリ体操・ラジオ体操・懐メロ歌謡、昭和映画、時代風景、BGM、幼児の唄等実施しながら、多くの笑顔を引き出すことができた。童謡を掛けながらリハビリ体操等継続。またカラオケの YouTube も新たに活用した。職員が創意的に単独でのレクレーションの実施は思うように出来なかった。今後の課題とする。

③ 居室担当者としての役割

- A、可能な限りケアプラン会議に参加し、意識向上することが出来た。居室担当として利用者の状態をしっかりと掌握し会議に臨み、会議メンバーと十分な意見交換アドバイスを受け、より良い生活に反映できた。
- B、利用者が普段使用している衣類・靴・タオルが常に清潔であるように心がけるようになった。
- C、居室が利用者にとって落ち着ける場所となるよう、家族との接点を演出できるように出来た。
- D、保湿クリーム・くし・歯ブラシのチェック・補充発注を実施出来る様になった。

④ 口腔ケア

- A、歯ブラシの洗浄、その後の清潔に管理できるように使用用品のバージョンアップする。
- B、義歯管理・洗浄・口腔ケア関連の備品完備・舌専用ブラシ活用等実施。
- C、歯科医・歯科衛生士と連携しアドバイスを受けながら口腔ケアに努める。

⑤ 認知症支援者としての理解と実践

- A、初級テキストを用意する。
- B、市販のテキスト（認知症介護実践研修テキスト実践者編）を購入する。
- 全部で4節10章から構成されており、一章ずつ現場で展開するように準備した。

⑥ 事故防止、リスクマネジメント

- A、歩く認知症の方が多くを構成するようになり、大幅な業務の見直した後も変化していく環境に適応していった。結果、新しい発見も多くあり、優良な介護業務に繋げることができた。
- B、一つ一つのアクシデントを検証し、前期からの新しいシステムを構築継続することで、転倒のアクシデント件数は大幅に減らすことができた。フロア職員と共に意識し連携することでフロア職員の自信にもなった。
- C、新入職職員には3Fフロアの特性を理解してもらい、一人一人の利用者を日々の生活の中で、寄り添いながら、変化に気づき、安心して穏やかに暮らしていただくことが事故防止に、大きくかわることを学べたと思う。

⑦ 身体拘束・褥瘡

- A、身体拘束に抵触することとしてスピーチロックを3Fフロアの課題として取り組んできた。継続して取り組んできたこと。新しく加わった職員の理解が広まる中、前期から大幅に減ってきている。それから歩行する、車椅子で移動する、歩行器を使って移動する利用者が多くなるにつれ、行動制限を使わざる終えない状況に遭遇することも度々あったが、できる限る職員全員で連携しながら付き添いを実行した。
- 二つの小さいホワイトボード等をこまめに使いなるべくコミュニケーションをとることに努めた。褥瘡については、適切な対応が出来なかったためにできたことがあったが、短期間で完治することができた。

⑧ 非常災害時の為の準備と体勢

- A、身近な所である、寮母室内での配線、備品保管庫、書類棚等あらゆるところの整理・清掃を実施する。通路に不要のものを置かないよう工夫する。他、物の保管場所の確認等行い、いつでも慌てず、有事の際は行動できるよう環境の整備に努める。
- B、防災用グッズの保管場所の整理、数量確認、確保し、期間切れの物品交換等行う。
- C、職員の緊急連絡網を更新し、複数回実施訓練行う。
- D、定期の防災訓練を実施し、新人職員・職員の意識喚起を行う。
- E、自然災害・火災・感染対応訓練を実施。都度職員の初動確認・マニュアル更新を行う。

リハビリ

- ・令和6年度のスローガン「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」の実現に向けて1年間取り組んだ。
- ・利用者様と関わる時はもちろん、廊下ですれ違う、目が合ったら挨拶、声掛けするように心がけた。また、出勤後各フロアを周り状態の確認をした。
- ・利用者状態、様子の変化、福祉用具の変更時に記録入力を行うことで多職種共有を行った。
- ・科学的介護推進体制加算の入力方法を周知し漏れの無いように提出まで準備、確認を行った。
- ・生活リハビリの変更、実施状況の記入漏れの確認、訂正依頼を実施した。
- ・ケアプラン会議に参加し、個別機能訓練計画の策定を行った。
また、急激な変化がある利用者様には時期を待たずに状態にあった計画に変更、共有を行った。
- ・状態の変化が見られた利用者様への福祉用具の変更、除圧、体位交換方法の徹底、周知に努めたが「0」とはならなかった。
- ・施設行事の企画考案、準備、実施に携わり、外部ゲストをお招きし2階ホールで開催した。
その際の外部ゲスト対応、音響等担当。
- ・感染症、事故防止、虐待防止、身体拘束等の内部研修に参加し知識を深めていった。
- ・車椅子、ベッドの故障等ある時は修理を行った。施設で修理できない場合は外部に依頼し、修理を行った。
- ・理学療法では、開始前の検温、手指消毒実施。使用後の用具の消毒、基本的にAM、PMで理学療法に入るフロアを分ける事で感染予防を行った。
- ・理学療法では多くの利用者様にに関わり訓練を行っていった。

大きな変化が見られた方は以下の通りです。

(機能向上が見られた方)	6名
(機能維持が見られた方)	75名
(機能の低下が見られた方)	17名

(福祉用具一覧表)

車椅子	109 台	
歩行器（シルバーカー含む）	16 台	
杖（T字杖、多点杖）	13 本	
ポータブルトイレ	6 台	
体圧分散マット（ジェルマット含む）	11	
エアマット	4	
センサー付きエアマット	16	
施設内のベッド数		
電動ベッド	85 台	
センサーベッド	20 台	総数 105 台

栄 養

- ・今年度の全体目標である「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」を実現できるよう厨房職員は利用者様を想い旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや利用者様から要望のあったメニュー、家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目指し令和6年度は業務に臨んできました。

次年度も引き続き季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られたご意見や要望に沿った献立の作成を行っていきます。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思ってもらえるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。また、調理の際は必ず2人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。

- ・食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(丼物)の日の実施。
- ・季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲みがしやすく見た目が良いソフト食の提供も継続していきます。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン丼物の選択も含む）	：月 2 回以上
誕生日食	：月 1 回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月 2 回以上
パン・麺の日	：月 2 回以上

■予算管理

- ・給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。

- ・次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

- ・月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。

■感染症の予防

- ・手洗い・うがいの徹底、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。また厨房内に感染症を持ち込ませないためにも、調理員は基本的に厨房から出ず、感染症予防に努めました。
 - ・利用者様の感染症が疑われる発熱の際には、使い捨ての弁当箱を使用し、厨房内に感染症を持ち込ませないよう努めました。
- その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

- ・前年度のヒヤリハット件数は合計で3件でした。内容は、配膳ミス：2件、異物混入1件でした。今年のヒヤリハット件数は配膳ミス3件、調理ミス3件の合計6件となりました。
- ・次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、引き続き利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

職員外部研修参加状況

5月15日	福生安全運転管理者部会定期総会・定例講習会	1名参加
5月17日	高齢者虐待の防止と権利擁護	1名参加
6月5日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
6月14日	秋川ブロック会生活相談員研修会	1名参加
8月16日	令和6年度感染症対策講習会	8名参加
8月22日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
9月3日	社会福祉事業従事者人権研修	2名参加
9月4日	令和6年度福生市介護支援専門員研修会	1名参加
9月11日	社会福祉事業従事者人権研修	2名参加
10月17日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
10月18日	第2回学校運営連絡協議会	1名参加
10月21日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
11月1日	東京都主任介護支援専門員研修	1名参加
11月7日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
11月10日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
11月19日	令和6年度安全運転管理者講習会	1名参加

1 1 月 2 6 日	東京都主任介護支援専門員研修	1 名参加
1 2 月 4 日	東京都主任介護支援専門員研修	1 名参加
1 2 月 1 1 日	第2サンシャインビラナース研修	1 名参加
1 2 月 1 2 日	機能訓練指導員研修委員会	1 名参加
1 2 月 1 5 日	東京都主任介護支援専門員研修	1 名参加
1 月 1 0 日	東京都主任介護支援専門員研修	1 名参加
2 月 1 0 日	虐待防止と権利擁護	3 名参加
3 月 3 日	給食施設における災害時の備え	1 名参加
*新入職員1名がサンシャインビラ介護学院で介護職員初任者研修を受講して初任者研修の資格を取得しました。		
*e ラーニングで認知症介護基礎研修4名受講しました。		

職 員 内 部 研 修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解し、全職員の資質の向上に取り組みました。

・内部研修の開催実績

4 月①「法人理念・ハラスメント対策」	②「感染症の基礎知識」
5 月①「事業継続 BCP 計画について」	②「身体拘束廃止の基礎知識」
6 月①「LIFE 科学的介護」	②「褥瘡予防」
7 月①「個人情報保護の基礎知識」	②「認知症の基礎知識」
8 月①「事故防止・2 階事例検討」	②「看取介護」
9 月①「事故防止・1 階事例検討」	②「虐待防止の基礎知識」
1 0 月①「事故防止・3 階事例検討」	②「感染予防策の取り組み」
1 1 月①「身体拘束廃止と人権の尊重」	②「職業倫理」
1 2 月①「認知症事例検討」	②「看取り介護の振り返り」
1 月①「褥瘡・廃用症候群」	②「守秘義務・個人情報」
2 月①「サービスマナー」	②「レクリエーション」
3 月①「介護過程の展開」	②「虐待防止・不適切介護」

令和6年度の内部研修は、正職員・非常勤職員ともに多くの内容を学び合いました。

学んだ知識と技術は仕事に活かせるよう、質の高いサービス提供が出来るように取り組みました。新入職員には入職時のオリエンテーションを行いました。

エルダーメンター制度により、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化を行い、介護技術の習得に努めました。

指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで進歩することが出来ました。職員間の良好な人間関係の構築にも役立ちました。

・新入職時のオリエンテーション内容

- 「統括施設長のお言葉」「新入職員オリエンテーション」
- 「BCP 計画」「介護職員の人材育成・人材育成新入職員」

「福祉の仕事と職業倫理」「看取り介護に関する指針・看取りのマニュアル」
「事故発生の防止及び発生時対応の指針」「身体的拘束適正化のための指針」
「褥瘡対策の指針」「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の指針」
「高齢者虐待防止に関する指針」「サービスマナーの指針」
「職場内の携帯電話の使用について」

苦 情 報 告

令和 6 年度も、利用者様、ご家族・代理人様、外部の方、そして職員から様々な意見が寄せられました。苦情や不満は解決すべき課題として受け止め、真摯に誠実に対応しました。ご家族からは施設の介護に対する温かなご意見を伺うこともできました。

苦情や意見の主なものは、毎月開かれる「苦情対策会議」で取り上げ、苦情の内容とその時行った対応を振り返り、原因を考察し、今後同じようなことが起きないための対策も話し合いました。

苦情対策会議で取り上げられた主な苦情・要望・意見その他

- ① 利用者様より ○職員の態度、言葉遣いに対する苦情・不満・・・・・・・・1件
○職員の介助、業務に対する苦情・不満・・・・・・・・4件
○生活環境、食事等に関する苦情・不満・・・・・・・・5件
○他利用者に対する苦情・不満・・・・・・・・4件
○希望、要望・・・・・・・・8件
○質問・・・・・・・・1件
○積極的な意見・・・・・・・・2件
- ② ご家族・代理人様からの意見・・・・・・・・4件
- ③ 外部の方からの苦情・・・・・・・・1件
- ④ 職員からの意見・・・・・・・・2件

＊職員の態度や介助に対する利用者様の苦情の中には、新しい職員が利用者様の意向を確認しないまま、介助を行ったことで不信感を抱かれてしまったというケースがありました。介助前に必ず声をかけ、その方の同意を得てから介助を始める、終了した後は適切に行うことができたのか、言葉や表情で確認することが大切だと話し合いました。

＊6 年度も利用者様の希望や要望が多くありました。「外食したい」「ぶどう狩りに行きたい」「〇〇が食べたい。〇〇を飲みたい」「ペースト食でも選択食ができないか」等、様々な要望が取り上げられ、利用者懇談会でも多くの希望を伺うことができました。年度の目標である「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」に沿って、お一人お一人の考えや希望を受け止めました。すぐには実現できないこともあります。できることは改善につなげるように努めました。

事 故 防 止

利用者様は身体機能の低下や認知症の進行に伴い、生活の中で様々な危険に遭遇します。起こる可能性のある危険を察知し、あるいは予測し、危険を防止していく必要があります。この「事故防止」を重要な課題として、令和 6 年度も施設全体で取り組んできました。

実際に起こった出来事は、「アクシデント」とアクシデントに至らなかったものの、危険性を感じた場合の「ヒヤリハット」、重大な結果に至った「事故」の3つに分類しています。「アクシデント」と「事故」は多職種の職員が現場に集まり、カンファレンスを行いました。それぞれの事例について、原因を究明し、対策を考察、その内容をまとめて記録に残し、速やかに対策を実行しました。記録はパソコン入力し、連絡ノートも活用して職員への周知を図りました。毎週行なう事故防止会議で各事例を取り上げ、中でも重大な事故やアクシデントについては、月ごとに行う事故防止委員会でさらに検討を重ねました。

令和6年度の「ヒヤリハット」は190件、「アクシデント」は135件、「事故」は7件でした。アクシデントの内訳は、転倒25件、転落19件、誤食1件、誤嚥2件、誤薬1件、トラブル0件、徘徊1件、器物破0件、盗難・紛失1件、怪我21件、その他51件、未記入11件でした。その他の中には、内出血、椅子やベッドからのずり落ち、薬の飲み忘れ等が含まれていました。事故は7件で、その中の1件は感染症で市への報告を行いました。他の6件の内、1件は職員とぶつかったことによる肘の骨折、5件は転倒による骨折でした。入院された6名の方は手術を受けて、その後退院、施設に戻って生活されています。

今回の総数はこれまでに比べかなり多くなっていますが、令和6年度は年度の初めから「アクシデント」と「ヒヤリハット」を明確に分けた1年でしたので、昨年度までとの単純な比較はできません。ただ、「ヒヤリハット」の増加は、事故防止の観点から「気づき」の大切さが浸透してきたことの現われと考えられます。しかし、「事故」に至った転倒の件数が例年に比べかなり多かったことは、重大なこととして受け止め、今後の課題にしていかなければならないと思います。

排 泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び合い、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

業者の講師による排泄の勉強会は、実践に役立つ内容で排泄介助方法と排せつ用品や物品の選択に役立ちました。

委 員 会 報 告

「耳を傾け、心を傾け、寄り添う介護」という合言葉で、利用者サービスの質の向上と安定したサービス提供が図れるよう各委員会を開催しました。

衛生委員会

施設顧問医師を中心に委員会を行い職員の健康管理、衛生会議、労働環境等の指導助言をいただきました。

事故防止委員会

ヒヤリハット事例やアクシデント事例の事例検討等を行い、事故防止に取り組みました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めました。

横になる時間が長い利用者様については褥瘡予防具の使用等により褥瘡予防に努めました。

身体拘束廃止委員会

身体拘束廃止会議を1ヶ月に1回開催して身体拘束に対する知識と認識を全職員に共通認識の下に取り組むようにしました。今後も意識を高く持って行きます。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。利用者様に合わせた物品を使用するためにアセスメントするとともに、排泄用品の使用状況を確認もしてコスト意識を持ち、排泄の改善に取り組みました。

サービスマナー委員会

一人ひとりがサービスマナーの重要性を理解して施設全体のサービスマナーが向上できるように取り組みました。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談を委員会にてすすめました。利用者様の声を献立に反映できるようにしました。また、利用者様にとって食べにくさ等不都合の改善策と職員にとって介助上の不都合の改善策を委員会の中で検討と確認をして、実行に結び付け業務の改善に取り組みました。

看護と介護の連携委員会

経管栄養の利用者様は1名です。

各部署の代表者で話し合いを行い、業務内容や利用者様情報を共有することにより連携が深まりチームケアの強化が図れました。

科学的介護推進委員会

毎月ライフについて学び、入力方法の確認や利用者様の状況確認等を行いました。

入退所者の確認も行いました。

業務継続委員会

どのような場合であっても、業務が継続できるように対策等を話し合い、検討し、BCP計画の策定と計画の見直し等を行いました。

計画に基づく訓練を行いました。

レクリエーション委員会

活動がありませんでした。

エコ委員会

猛暑だった事もあり、エアコンの使用量は増えたが、毎月の会議とデマンドにより全職員の意識は高まっていました。

無駄な電気は使わないという意識を持つ事が出来ました。

忘年会活動報告書

コロナウイルス感染症の影響で福陽会合同忘年会は行われませんでした。全職員が感染症の予防策とまん延の防止策に一丸となり取り組みを行い、コロナ感染症をはじめとする感染症の防止に取り組みました。その中で職員間のチームワークが醸成され親睦も深まりました。

職員旅行活動報告書

忘年会同様、コロナ等の感染症の影響で職員旅行も中止となりました。職員は私生活においても感染症の予防に努めました。

ク ラ ブ 活 動

令和6年度も、様々な余暇活動を計画、実施しました。

クラブ活動は、まだ講師が決まらず定期的に行うことができませんでしたが、職員がお手伝いする形で、行うことができました。クラブ活動以外でも、いろいろな体操や散歩・ドライブ等を実施しました。利用者様同士の交流も生まれ、生活の中で、楽しさや喜びも感じていただけたと思います。

茶 道

活動回数	1 回	参加延人数	17 名
活動報告	茶道 1回 17名 文化祭の時に2階ホールの会場で、大きな和傘を立ててお茶席を設けました。茶道の心得のある職員がお茶を点て、利用者様に抹茶と上生菓子を味わっていただきました。		

華 道

活動回数	2 回	参加延人数	16 名
活動報告	文化祭に展示するために、前日にホールにて花を活けていただきました。 参加された皆様は、様々な種類のお花の中から、好きな花々と花器を自分で選び、思い思いに活けておられました。華道の経験をお持ちの方が多く、手際よく、集中して取り組まれていました。最後には、皆さん笑顔で記念写真を撮りました。文化祭当日には、会場が豪華な生花で彩られました。 普段のクラブ活動としては、同じ種類のお花を活けてもらいましたが、個性が現われて素敵な作品が出来上がりました。生のお花に触れる機会を楽しまれ、お互いに「きれいなねえ」と言葉を交わされていました。		

書 道

活動回数	7 回	参加人数	41 名
活動報告	2階ホールやダイルームで、書道の道具・お手本を広げて開催しました。 ダイルームでは新しく入所された方や、これまで参加したことのない方にも声をかけることができ、大勢の方に参加してもらうことができました。 筆を持つのは学生の時以来よといいながら、皆さん熱心に取り組まれていました。 文化祭では、前日に例年通り2階ホールに作品を展示しました。文化祭当日には、多くの方に見ていただきました。ご自分の作品を見つけると皆さん嬉しそうでした。		

鑑 賞 会

活動回数	回	参加延人数	名
活動報告	各フロアーでテレビを使い、ユーチューブの歌番組等を鑑賞していただきました。利用者様は懐かしい歌手の歌等を鑑賞し、大変喜ばれていました。年度の終わりに、新たなボランティアの方が来ていただくことになり、2階ホールにて、紙芝居を見ていただくことができました。		

ラジオ体操・テレビ体操

活動報告	各フロアーで、毎日時間を決めてCDでラジオ体操の音楽をかけ、皆さんに行ってもらいました。 また、職員が声をかけ、テレビ体操の時間にチャンネルを合わせたり、介護予防体操のユーチューブを流すと、多くの方が自分で体を動かして楽しんでおられました。
------	--

喫 茶

活動回数	1 回	参加人数	10 名
活動報告	2階ホールにて、コーヒー、紅茶、日本茶とお茶菓子等を用意して開催しました。好みの飲物を選んでもらい、普段食べる機会のない菓子パンを召し上がってもらいました。 会場では明るく爽やかな音楽かけ、提供するお皿もカラフルな物にして、「喫茶」らしい雰囲気を演出しました。		

手 作 り お や つ

活動回数	10 回	参加人数	826 名
活動報告	家庭で作るような、素朴な「おやつ」を手作りして利用者の皆さんに召し上がっていただきました。「おいしかったよ」「もっと食べたい」という声を聴くことができました。 4月 お好み焼き／プリン・・・・・・・・77名 5月 ティラミス・・・・・・・・80名 6月 ブラウニー&カステラ・・・・77名 7月 アイスcream&チーズケーキ・・・78名 8月 パンナコッタ&ゼリー・・・・80名 9月 お好み焼き・・・・・・・・80名 12月 おしるこ(豆腐白玉入り)・・・・84名 1月 プリンアラモード・・・・・・・・99名 2月 パウンドケーキ&クリーム・・・89名 3月 サンドウィッチ(卵/フルーツ)・・・93名		

外 出 の 日

活動回数	散歩 19 回 ドライブ 6 回	参加人数	17 名
活動報告	近くにある福生市の多摩川中央公園やその周辺へ散歩に出かけました。 春は桜やチューリップ、新緑の景色を眺めに行きました。散歩している家族連れに挨拶したり、犬好きな方は犬を目で追ったり、それぞれが楽しんでいました。 秋にはコスモスの花壇を見、冬も暖かな日には散歩に出かけました。外の空気を吸って、遠くの山や空、広々した景色を眺めて、皆さん喜ばれていました。 ドライブでは、近くの河津桜や羽村のチューリップ畑、秋には紅葉を見に出かけました。 車中では、歌を歌ったり、皆さんおしゃべりを楽しまれていました。		

園 芸

活動回数	3 回	参加延人数	17 名
活動報告	園芸クラブでは、毎年施設の裏庭にて、花や野菜を育てています。 春には、花と野菜の苗を植えていただきました。 その成長の様子を観察し、夏には実ったナスやキュウリ、ミニトマトなどの収穫もできました。		

製 作

活動回数	5 回	参加人数	34 名
活動報告	文化祭に向けて、各フロアで作品の製作を行ないました。 なるべく多くの利用者様に参加していただき、それぞれを集めて壁飾りアート作品に仕上げました。文化祭の前日、会場に展示し、来場者に鑑賞していただきました。 明るい色調の作品が会場の雰囲気を盛り上げてくれました。		

防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」「感染症のクラスターが発生してしまった」等々を想定して今年度も訓練を行いました。

どのような状況であっても利用者様へのサービス提供を行うという私たちの使命を職員一人ひとりが自覚しながら職務にあたるように取り組みを行いました。

1, 令和6年度 訓練の記録

令和6年4月24日	地震想定	夜勤帯	避難訓練
令和6年5月19日	火災想定	日勤帯	避難訓練
令和6年6月12日	地震想定	日勤帯	総合訓練
令和6年7月28日	火災想定	夜勤帯	消火訓練・避難訓練
令和6年8月21日	地震想定	夜勤帯	一連の動きを想定した訓練
令和6年9月13日	福生消防署「自衛消防訓練指導会」参加		
令和6年10月16日	地震想定	夜勤者の役割分担確認	
令和6年11月5日	感染症及びまん延の防止のためのシミュレーション訓練		
令和6年12月9日	通報訓練（BCP計画による職員連絡網を使用）		
令和7年1月22日	火災想定	日勤帯	避難訓練
令和7年2月19日	洪水時想定	行動確認	
令和7年2月26日	感染症及びまん延の防止のためのシミュレーション訓練		
令和7年3月19日	振り返り	令和6年度の訓練を振り返り、令和7年度に繋げる	

使 用 物 品 等

日常的に使う使用物品の在庫が少なくなると事務所に連絡をして事務所で発注しました。
納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換は、業者に委託しています。

リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。

環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。

お む つ 等 管 理

紙おむつ類の使用については、職員全員がコスト意識を持ち使用しました。無駄な使い方をしないように注意し合って、排せつ介助を行っています。

在庫の管理をしながら発注し、過不足なく使用する事が出来ました。

年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	4 月 1 4 日 (日)	模擬店食材 お菓子・飲み物他 お花紙 謝礼	1 7, 7 8 4 1 4, 7 5 9 2, 4 1 0 3 0, 0 0 0	6 4, 9 5 3
端午の節句	5 月 5 日 (日)	お菓子 飲み物	1 5, 4 8 3 2, 3 9 9	1 7, 8 8 2
ゲーム大会	6 月 1 1 日 ～ 7 月 3 日	1階アンパン 2階アンパン 3階アンパン	3, 9 1 0 7, 7 7 6 7, 7 7 6	1 9, 4 6 2
納涼祭	8 月 4 日 (日)	模擬店食材 ボランティア 飲み物等	2 7, 5 1 8 1 0, 0 0 0 3, 8 5 2	4 1, 3 7 0
地域祭礼	7 月 2 7 日 (土)	お祝い 食品、飲み物	1 0, 0 0 0 1 9, 9 2 7	2 9, 9 2 7
敬老会	9 月 1 5 日 (日)	花代 お菓子 飲み物 色紙他材料費	5 2, 0 0 0 1 5, 7 7 3 4 5 4 3 3, 4 5 4	1 0 1, 6 8 1
文化祭	1 0 月 2 7 日 (日)	模擬店食材 茶道菓子等 フラダンス 花 材料費	3 3, 9 2 8 1 7, 3 7 1 3 0, 0 0 0 2 0, 5 0 0 1 8, 2 6 9	1 2 0, 0 6 8
クリスマス	1 2 月 2 4 日 (火)	ケーキ 飲み物 お菓子 材料費	9 2, 3 2 6 1, 9 4 1 1 1, 3 5 0 3, 9 6 0	1 0 9, 5 7 7
餅つき	1 2 月 2 8 日 (土)	もち米と もち取り粉	7, 7 7 6	7, 7 7 6
新年式典	令和 7 年 1 月 1 日 (水)	門松 お飾り等 鏡餅 花 飲み物他	4 7, 3 0 0 4, 8 0 0 1 2, 6 4 5 1 3, 0 0 0 1, 2 9 2	7 9, 0 3 7
節分祭	2 月 2 日 (土)	ボーロ	2, 3 7 6	2, 3 7 6
ひな祭り	3 月 2 日 (日)	花 飾り 和菓子	2, 0 0 0 9 7 1 2 3, 0 0 0	2 5, 9 7 1

合計

6 2 0, 0 8 0 円

ボランティア受入状況

コロナ禍以前は、たくさんのボランティアさんに活動していただいていたのですが、今年度も感染症の予防の観点から外部の方となるボランティアさんが施設内で活動していただくというところまでの拡大が出来ませんでした。

ご自宅で作った作品を届けて下さったり繕い物をして下さったりという個人ボランティアさんも引き続きありました。

実習生・研修生受入記録

令和6年度もコロナ等感染症の状況を見ながらではありましたが、中学生の職場体験と大学生の介護等体験、介護福祉士養成校の生徒さんの実習、初任者研修の施設実習等の受け入れを行いました。

地域交流参加等の状況

地域交流は重要なこととの認識のもと交流の機会を検討しましたが、感染症の予防を考慮し直接の交流機会を持つことが少なかったです。

地域の祭りや保育園の園児さんとの係わりと、今年度最終月の3月30日（日）に福生市桜まつりに6名の利用者様が参加し、人力車に乗るとい体験をしました。

それらのことにより、地域との関係を感じる事ができ

令和 6 年度短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持る。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1) 月別利用者様の延利用日数

4 月	19 日	5 月	11 日	6 月	6 日
7 月	52 日	8 月	39 日	9 月	12 日
10 月	22 日	11 月	12 日	12 月	50 日
1 月	28 日	2 月	11 日	3 月	12 日

1 年間に、延べ日数で合計 274 日利用していただきその結果、稼働率は 37, 53% でした。

従来型多床室で個室がありませんので、感染症の感染防止策等により 2 床のベッドの二人部屋に 1 名の方が利用するという状況もありました。

(2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

理事長、統括施設長、施設顧問医師からご指導をいただき、職員一同力を合わせて利用者様のその方らしい生活支援、感染症予防策の徹底、サービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な入れを行う環境を整えて準備しました。
 - (2) 重度要介護者の受け入れ環境を整えて準備しました。
 - (3) 内部研修と OJT を強化しました。
 - (4) 各部署のチームワークで感染症の予防と拡大の防止策を徹底して行いました。
- 生活の場として安全であるように環境を整え、その方のご利用期間中を安心して安全に過ごしていただき、その後は安心して居宅生活へ戻っていただけますようにと考えて、支援いたしました。

2024 年度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビル
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告（総括）

職員間での報告相談を中心に、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深めて行く事により、利用者個々の充実した生活が送れるよう支援する事が出来た。新型コロナウイルス等の影響により面会制限や活動自粛等をせざるを得ない状況が続いたが、コミュニケーションの増加やフロア毎の諸活動の企画及び実施により、日常生活を楽しんでもらう事が出来た。

地域交流については、民生委員との懇談会を9月に、地元加美町会や福生市との合同防災訓練を3月後半に、小中学校や夏体験ボランティアの受け入れ等も実施。又、地域包括との連動により認知症サポーター養成講座や認知症カフェを実施し参加者からは好評の声が聞かれた。行事時の地元演芸ボランティア慰問も再開とし、3大行事を盛り上げて頂けた事で利用者様にも大変喜ばれる状況であった。

面会についてはフロアラウンジでの面会を継続し距離が近くなった事で利用者様やご家族様から喜びの声やたくさんの笑顔を見る事ができ、利用者個々の生活の安定に繋げる事ができた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・施設顧問医師の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。今年度も内部研修を中心に定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修の実施を継続する事ができた。

利用者の健康管理については、平均介護度4.0と重度化が継続している中、施設顧問医師の指導による日々の健康チェックと日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療に努める事ができ、精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。同時に施設顧問医師を中心に前年と同様に充実した内容の感染症対策委員会を開催し、感染症に対する知識を深める事が出来た。

環境面についても、夏の猛暑に対してはボイラーの稼働時間の変更により夜間も快適な室温を提供、冬の乾燥対策として加湿器の増加、利用者からの要望にてウォッシュレットトイレの増設等、より過ごしやすい環境が提供できた。

一方では、開設から29年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、ファンコイルユニットの交換、温水循環ポンプの交換、各種設備点検による機器交換等の施設備品修繕は大変高額なものとなった。修繕等については今後も消耗状況による各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような活気ある施設作りを強化並びに継続して行きたい。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、稼働率状況はやや安定的ではなかったものの、利用者個々の生活状況は穏やかで明るいものであったように思われる。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務や利用者生活のサポートを遂行していく。

2. 職 員 構 成 3 月 31 日現在

担当職	職 名	職員	非常勤	
理事長		1		
統括施設長		1		* 兼務職員は主たる職務に記載し、 兼務している職務では（ ）内に 記載
施設顧問医師			1	
医師			1	
産業医			1	
施 設 長		1		
事 務 長		1		* 清掃・洗濯の 一部はシルバー人材より派遣
事 務 員		1	2	
生活相談員	主任生活相談員	0		* 提携病院 あきる台病院
	生活相談員	5(2)	1	
	介護長	0		
介護支援専門員		(2)		* 介護派遣 1 名
介護職員		35	28	
医 務	医 師		3	
	看護主任	0		
	看護職員	8	2	
	事務		0	
機能訓練指導員	機能訓練指導員	3		
	P T		2	
厨房	管理栄養士	2		
	調理員	7	1	
保守管理・宿直	介助員	1	6	

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	1012	810	1214	1012	149	1113	911	208	1113	810	1214	1213	12
栄養会議	12					13	11	8	13	10	14	13	8
栄養会議行事計画委員会	1013	811	128	1013	1410	1114	912	139	1114	811	128	1214	書式変更：右揃え
行事計画苦情処理委員会	22	27	24	2227	26	16	28	2523	23	27	24	24	書式変更：右揃え
苦情処理委員会				8				11					書式変更：左揃え
事故対策委員会		1325					1426			1325			書式変更：左揃え
虐待・拘束廃止委員会			1029			926			928			1028	書式変更：左揃え
個人情報保護推進委員会	820				1231								書式変更：左揃え
実習研修推進委員会	18		20	18	15	19	17		19	16	20	20	97
厨房会議	5					6	2						12
ケース会議	813	1311	108	813	1210	914	1412	119	914	1311	108	1014	24
	20	25	29	27	31	28	26	23	28	25	22	28	
リーダー会議	2224	2722	2426	2224	2628	16	2823	2527	2325	2722	2426	2425	書式変更：右揃え
リーダー会議	15	20		15	19	23	21	18	16	20	17	31	11
広報委員会		917		1113		1214		149		911		21	56
施設内レクリエーション委員会	18	16	20	18	15	19	17	21	19	16	20	20	106
褥瘡予防委員会	813	1311	108	813	1210	914	1412	119	914	1311	108	1014	12
衛生委員会	2325	2823	2427	2325	2722	2426	24	5・ 2628	2426	2830	2527	2526	12
感染症対策委員会	2220	2725	2429	2227	2631	1628	2826	2527	2325	2722	2426	2425	12
全体会議	1012	810	1214	1012	149	1113	911	208	1113	810	1214	1213	12
利用者懇談会													0
給食懇談会	13	141	22	3	28	29	21	246	2011	1915	205	2311	127
法人合同会議	2220	2325	2722	1827	2224	2627	3126	2530	2321	2325	2022	2728	12
協力医療機関連携会議			11	9	13	10		5・19	10	14	18	11	10
業務検討会議	15	20		15	19	23	21	18	16	20	17	31	11
防火管理委員会								23					10
その他会議										28	6		1

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	0	2	0	3	2	3
国 立	0	1	1	0	1	1
江 東	0	0	0	0	0	0
杉 並	0	1	0	3	1	3
世田谷	0	0	0	2	0	2
立 川	2	3	3	0	5	3
福 生	3	18	4	15	21	19
文 京	0	0	0	2	0	2
目 黒	0	0	0	0	0	0
その他	11	14	6	6	25	12
合計	16	39	14	31	55	45

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					164	288	9.6
5					166	360	12.0
6					169	310	10.3
7					166	281	9.4
8					166	110	3.7
9					166	265	8.8
10					167	197	6.6
11					167	260	8.7
12					167	320	10.7
1					167	187	6.2
2					171	241	8.0
3					169	250	8.3
合 計	0	0	0	0	2005	3069	8.4

6. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

【フロー目標】認知症の方の行動・症状を理解しその方に合った接し方、ケア、本人の尊厳を大事にして、出来ることをいかした生活が送れるよう支援していきます。

① 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、フロア職員参加のもと周知し備えることができた。感染症対策時期には外出支援ができない為、クリスマス、お正月、節分祭、ひな祭りなどを盛大にフロアレクリエーション充実したものにできた。

② 安全対策

夜間帯、センサー反応がよく、色分けされたものに変更した物を使用し区別がつきやすく利用者の見守り精度が上がった。

③ フロア活動報告

【利用者ショッピング】

新型コロナ感染症対策のため中止。

【フロア外出支援】

新型コロナ感染症対策のため中止

【フロアレクリエーション】

コロナ感染対策の為、外出、又外部からの慰問等も出来ない状況の中で、季節を感じられるレクリエーションを、利用者様と職員と一緒に楽しみ、職員の演奏会（和太鼓・ジャグリング・ピアノ・ウクレレ・仮装）などは多くの利用者様の笑顔がみられとても楽しめました。全ての行事に多くの利用者様が参加して頂ける内容を考え取り組むことが出来た。フロア内に、普段とは違う表情の笑顔の写真を多く撮ることが出来、フロア内に多くの写真を飾る事が出来た。また、感染症対策として AB それぞれのユニットで分散したかたちでのレクリエーション実施した。

【フロア研修会】研修委員主催

事故報告が出た場合、なるべく早くミーティングをするように心掛け、改善、再発防止に努めフロア全体が把握、周知できるように取り組むことが出来た

2) 3F 事業報告・活動報告

① 利用者の個別ケアについて

ケアプランに基づいた個別ケアについて、職員一人ひとりが理解、発信することがフロア全体で実践出来ている。情報共有についても昼のミーティングで当日の利用者の状況についての報告、確認を行い皆で把握することで、その後のケアに活かせるような体制が定着している。それにより少しの状態変化も察知し易くなり、医務やリハビリへの相談や連携も以前より迅速に行われるようになった。今後もより適切で根拠のある個別ケアが実施されるよう継続していく。

ヒヤリハットについては、令和5年度に比べ全体で74件と増加している。些細な事でもしっかり情報が上がっているとも言えるが、特に繰り返す事案については検証をしっかりと行い対応策を講じていく。反面、内出血は減少しており、引き続きトランスファー等注意していきたい。一方、自立している方の車椅子からのすり落ちの増加がみられた。防ぎきれない部分もあるが、フロア全体でミーティングを行い同様の事故を減少出来るように努力していく。1件発生した褥瘡についても他部署と連携しながら、適切な体位やクッションの使用により繰り返さないよう対応していきたい。

新型コロナウイルスについては6月8日から5類感染症となったが、2月にノロ

新型コロナウイルスについては職員1名の感染が確認されたもののフロアへの蔓延はなく、その他、ノロウイルスやインフルエンザ等の感染も防ぐことが出来た。引き続きスタンダードプリコーションを基本に、職員の体調管理や医務との連携を図りながら様々な感染予防に努めていく。

② フロアレクについて

新型コロナウイルス5類移行後、少しでも日常を取り戻す様レク委員を中心に活動。フロア内の飾り付けは利用者様からの評価も高く継続している。またベランダの草花や季節の野菜の苗を植えて成長を楽しみにしたり、天気の良い日は外気浴を実施するなど利用者に少しでも楽しんで頂くよう努力した。その他、日頃よりYouTubeで映画や昭和の音楽を流し、利用者からも「懐かしいね」との声が聞かれ喜ばれた。

③ 個人の尊厳・認知症ケア

「尊厳」というものの意味を理解し、利用者一人ひとりと真摯に向き合い、個別のケアや利用者特性、認知症の理解については職員指導や研修会の参加などで理解を深めてきた。今後も利用者・家族が安心して施設での生活を送って頂けるよう引き続き努めていく。

④ ターミナルケア

終末期、居室担当を中心に居室を思い出の写真で飾り付けしたり、好きだった音楽を流しその人らしい安心安楽な環境づくりに努めた。また、ご家族に感染対応をご理解頂いた上で面会時、大切な時間を一緒に過ごして頂くことが出来た。

排泄委員会（感染症委員会）

- ・利用者の状態変化に合わせた排泄材料の検討や排泄表の作成、褥瘡予防策の提案・実施。
- ・感染物品の管理や安全な排泄介助方法、嘔吐処理やガウンテクニックの指導。

美化委員会

- ・感染予防の為に口腔ケアや整容などの物品管理や身の回り品等の整備。
- ・安全や清潔に配慮したフロア環境整備。各種ホワイトボードの確認、修正。

レク委員会

- ・季節感のあるフロア内外の装飾。
- ・感染予防に配慮した上でのフロアレクの企画・実行。

研修委員会

- ・より質の高い職員の育成につなげる研修の実施や資料作成等。

3) 4F 事業報告・活動報告

年間目標

常に尊敬の念を持ち、利用者一人一人と真摯に向きあうことで、『その人らしい生活感のある暮らし』『心身ともに健康な生活』『笑顔の絶えない楽しい生活』が送れるよう支援をしていきます。

重点項目

書式変更：インデント：最初の行：1字

① 感染症対策

新型コロナウイルス感染症等の感染症対策においては、引き続き令和2年度のクラスターの経験から学んだ知識を源に、感染予防対策の習慣化だけでなく、さまざまな感染症に対する感染予防対策の根拠を追求、日々の利用者ケアの見直しを行うことにより、日常的な感染予防対策として個々のレベルアップに繋がった。また、新型コロナが5類になったが、流行し続けていることもあり、感染症には特に細心の注意を払い、職員個々に体調管理、プライベートでの注意を心掛けたが、家族間での感染は間逃れず、早期に疑い出勤を控えるも職員感染してしまう結果となった。また、医務との連携を図るも、7月下旬にコロナ発症。インフルエンザウィルスでは、利用者1名が感染したが蔓延を阻止することが出来た。今後も常に医務との連携を図りながら感染予防に努めていく必要がある。

② 利用者個別ケア

利用者一人一人のケアプランをケース会議毎に職員に周知することで、フロア職員、皆が利用者一人一人の想いやニーズ等の把握や対応等、個々の情報を共有し、統一したケアを実施することが出来た。その成果として、食形態の変更、歩行器等の活用による歩行能力の向上、膝等の可動域制限のある利用者へは、機能訓練指導員との協力により効果が見られ、その利用者からは感謝の言葉を頂くこともありました。その事により、利用者の生活の質が向上した実績も得られている。職員、利用者間の良好な交流が継続している中で、利用者同士の交流も引き続き多く見られ。外出や面会がままならない状況でしたが、面会制限緩和により、ご家族と過ごす時間も増えてきて、笑顔で生き生きとした利用者の様子がうかがえた。

③ 認知症ケア・個人の尊厳

尊厳という意味を理解することで、フロア内での情報共有をもとに、認知症であっても「その人がその人らしく」生活できるよう、引き続き周辺症状、中核症状へのアプローチを個別に工夫、周知することで、利用者、職員共にゆとりを持ち、穏やかな関係性を築くことに努めてきた。また、やむを得ず、医師との相談により抗精神薬の処方となった利用者に対しては、引き続き投薬後の副作用を考える等の意識も高まっている。

④ 看取り介護（ターミナルケア）

コロナ等の各種感染症対策にご協力頂き、ご家族との面会を円滑に実施することが出来た。ご家族の写真や大切な物、自慢な物、好きな歌等、「その人らしさ」を尊重した環境を整え、居室でもご家族と一緒に過ごされ、支援の手を差し伸べられる機会を提供することが出来、利用者、ご家族からの満足度が実感できた。看取りケア実施中にも、様々な意見や思いを寄せ合うことで看取りケアの質を深める努力を継続している。又、看取り後には、故人のご家族に向けた「思い出のアルバム」を心込めて作成し、数々の嬉しいコメントを頂けている。

⑤ リスクマネジメント

ヒヤリハット、内出血に関しては、昨年度よりも減少している。発見、報告の意識付けと職員全体の目配り気配り等の意識を向上することが出来、事故も減少した。各職種職員間の情報共有にも役立つことが出来た。又、引き続き低床ベッドの活用、足元マットの設置や、センサーの利用を状況に応じ実施している。歩行器、車椅子自乗の方が増加し、出来る限り自由に生活して頂けるようにしている。結果として尻もち、転倒、車椅子や椅子、ベッドからの転落、ずり落ち等の事故報告や、些細なことも含めた件数は前年度よりも減少し、骨折に関しては0件に抑える結果となった。

⑥ 生活支援、レクリエーション。

前期と同様に、天候の良い日は外気浴やドライブ（車内からの景色観賞）、喫茶店へ行き軽食を楽しまれたり、お誕生日会で誕生月の方への祝福や、カラオケ、音楽会、アイスクリーム等の嗜好品や四季折々の装飾等、レクリエーションを企画し、実行する事により、感染症対策により外出制限の中でもストレス少なく、楽しみをもって過ごして頂けるよう努めた。日常に於いても、利用者同士の楽しむ姿や等の写真を貼り出し、観られる姿も多くありました。また、利用者個人の趣味や生活歴等に応じた個別の動画鑑賞の提供も、利用者が楽しむ場面に有効であり、職員と交わりながら楽しそうに笑っている利用者が多く見られていた。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイキング	ラーメン の日 冷し中華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	19	6	6	20	13	27	2645	1144
5	10	17	4	18	11	25	3144	923
6	21	7	1	15	8	29	2859	1340
7	19	5	6	20	13	27	2644	1125
8	16	2	3	17	10	31	2344	844
9	20	6	7	21	14	28	2732	1222
10	18	4	5	19	12	26	2547	10
11	15	-	2	16	9	30	2233	1444
12	20	6	7	21	14	28	2765	1226
1	24	17	5	18	11	25	3137	942
2	21	7	1	15	8	22	280	1324
3	21	7	22	15	8	29	2864	1324

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
3月30日	ふっさ桜まつり	4

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月22日	ボランティア予定者関係業者	1	14:00～15:11:00	施設見学、打ち合わせ
5月10日	他施設職員	12	10:14:00～11:45:00	〃
5月10日	関係業者新卒選考会参加者	1	11:00～12:30～14:30	〃施設見学、採用選考
5月17日	入職希望者関係業者	24	16:30～17:10:00	施設見学、打ち合わせ
5月22日	新卒選考会参加者関係業者	1	10:00～11:12:30	施設見学、採用選考〃
5月26日	八王子盲学校教員	2	16:30～17:30	〃
6月19日	新卒選考会参加者入職希望者	1	14:13:00～15:00:30	施設見学〃
7月14日	関係業者民生委員	2	16:11:00～17:42:00	〃施設見学、打ち合わせ
7月25日	入職希望者八王子盲学校学生等	154	14:10:30～15:11:30	施設見学、質疑応答〃
7月12日	多摩リハビリテーション	1	15:10:00～16:11:00	〃施設見学、実習見学

書式変更：中央揃え

書式変更：インデント：最初の行：0字

書式変更：インデント：最初の行：3字

	入職希望者		00		
79月 3022日	入職希望者	1	13：30～14：3000	〃施設 設見学	書式変更：インデント：最初の行：5字
8月 28日	福生4小教員	1	13：00～14：00	施設見学、打ち合わせ	
10月 1710日	入職希望者関係業者	1	1410：00～1510：30	〃	書式変更：両端揃え 書式付きの表
1011月 3027日	入職希望者	1	1511：00～1612：00	施設見学〃	
111月 1325日	新卒選考会参加者入職希望者	1	14：00～15：0030	〃施設見学、採用選考	書式変更：中央揃え、インデント：最初の行：0字
2月 626日	関係業者シルバー人材センター	2	1510：30～1611：30	施設見学、打ち合わせ	
2月 29日	関係業者	2	14：00～15：00	〃	
3月 6日	新卒選考会参加者	1	13：00～15：30	施設見学、採用選考	
23月 218日	福生4小教員関係業者	3	10：00～14：30	〃施設見学、利用者調査	

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり
7. 厨房事業報告

① 各利用者に適切な栄養管理を行い、栄養状態の維持・改善に努める。
・栄養リスク判定

	高リスク	中リスク	低リスク	合計
2024年4月時点	19名（12.1％）	70名（44.6％）	68名（43.3％）	157名（100％）
2025年3月時点	14名（8.9％）	69名（43.7％）	75名（47.5％）	158名（100％）

高リスク者が5名減少、中リスクは1名減少しており全体的に館内の栄養リスクの低減ができた。栄養リスクが低く栄養士の介入が最低限の利用者が2024年4月から4.3ポイント増加し47.5%まで増加した。
随時、嗜好調査を兼ねたミールラウンドを行い、利用者に合わせた栄養管理を行うことで栄養状態の改善を行うことができた。

② 利用者様に喜ばれる食事を提供し、利用者の生活に彩りを添える。
実施内容「キムたくご飯」 実施日 R6.11.24（日）

目的
利用者様に満足していただけるように普段のメニューでは食べられないご飯を選抜し見た目や味の変化などを楽しんで食していただけることを目的として計画を実行した。

結果
全食形態の方にとっても満足してもらえたご飯でした。とても美味しくまた食べたいという声をたくさん頂きました。提供したことがなかった物でしたので喜んでもらえ良かったです。またどこかのタイミングで提供できたらいいと思います。

③ 徹底した衛生管理を行い、安心・安全な食事提供を行う。
食中毒流行期の初めである6月、11月に食中毒予防の冊子を配布し、厨房職員の食中毒予防意識を高めた。その他、食中毒の情報があつた際は栄養士が厨房内に情報を共有し原因と対策について話し合い

を行った。

また、2025 年 1 月 14 日に実施された西多摩保健所による厨房内のノロウイルス拭き取り調査では陰性判定を受け、衛生的な厨房運営ができていたことが証明された。

- ・6 月作成・配布 「細菌性食中毒の原因と対策」
- ・11 月作成・配布 「ノロウイルスの原因と対策」

④ 他職種との連携を密に取り、質の高いケアを提供する。

栄養会議においては低栄養のリスク判定で「高リスク」判定となった利用者を各フロアに共有し、利用者のケアに役立ててもらった。

行事食は毎週水曜日の実施であったが、介護職の希望により金曜日に移行することが求められた。厨房内で業務内容の見直しを行い金曜日の行事食実施を実現することで、介護業務の均一化に貢献することができた。

◎行事食等の実施報告

月	日	内容	月	日	内容	月	日	内容
4	3	ラーメンの日	8	2	冷やし中華	12	6	ラーメンの日
	10	希望食の日		14	希望食の日		7	クリスマス会
	17	うどんの日		21	そばの日		13	希望食の日
	24	誕生会		28	誕生会		20	うどんの日
	25	観桜会（内部）					27	誕生会
5			9	4	冷やし中華	1	31	年越し
	1	ラーメンの日		8	敬老の日			
	8	希望食の日		11	希望食の日		1	元旦祝膳
	15	うどんの日		18	そばの日		7	七草粥
	29	誕生会		25	誕生会		10	ラーメンの日
6			10			2	11	鏡開き
	7	ラーメンの日		2	ラーメンの日		17	希望食の日
	12	希望食の日		9	希望食の日		24	うどんの日
	19	そばの日		16	うどんの日		31	誕生会
	26	誕生会		19	文化祭(内部)		7	ラーメンの日
7			11	30	誕生会	3	14	希望食の日
	3	冷やし中華					21	そばの日
	10	希望食の日		8	ラーメンの日		28	誕生会
	17	うどんの日		15	希望食の日		7	ひな祭り
	27	納涼祭（内部）		22	そばの日		14	希望食の日
	31	誕生会		29	誕生会		21	うどんの日
							28	誕生会

希望食の日 10月～6月は刺身 7月～9月はうなぎ蒲焼

8. 医務室利用者健康管理報告

1. 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進 実施内容と方法

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・血液）
- ② 新規入所者は入所時検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・血液・尿検査・心電図・必要に応じて胸部・腹部 CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所時検査結果を速やかに医師に確認し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努める。
- ④ 週に 4 回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SP02 など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月 1 回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 毎日の食事摂取量を確認し、栄養士と相談しながら食形態の変更や、補食の検討・開始を行う
- ⑨ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑩ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑪ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
- ⑫ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。
- ⑬ 歯科医師・歯科衛生士の指導と協力のもと、口腔ケアと機能の維持に努める。

年間目標 1 に対し①～⑬を念頭に取り組んできた。2024 年 6 月より各フロア看護師 2 名体制となり、相談や協力をしながら利用者に接する機会を多く持ち、診察時には医師からアドバイスや指示を受けることで観察力を高め、日々の変化や異常の早期発見に努めた。また、発熱時にはコロナ・インフル抗原検査、目視による尿の性状や簡易尿検査、呼吸音の聴取等を行いその結果を速やかに医師に報告することで、早期の治療開始に結びつけることが出来た。

今年度、死亡退所者：45 名（入院先での死亡者 8 名 急変等により死亡された方 8 名 ターミナル対応の末に亡くなられた方 29 名） 通常退所者：6 名

入所後、1 年以内の方も数名いらっしゃる。入所前の情報と実際の状況の違いや、年齢が高くなり抱えている疾患が多く、家族間での関係が薄く十分な既往歴の確認が出来なかった。また、感染症（新型コロナウイルス）の蔓延で、医療・看護の介入が不十分であった事も拒めず。

亡くなられた方の 2/3 は看取り介護（ターミナル）の実施が可能となった。実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、御家族の死に対する心の整理をつける事に繋げた。また、面会時や電話で看護師より現状の説明を頻回に行い相談を受けるなど、御家族の意向を尊重しながら対応を継続したことで、御家族より感謝のお言葉を頂いた。

死亡者数は昨年度とほぼ変わらないが、看護師 2 名体制になったことにより、ご家族へより頻回に現状説明や報告が出来、看取り介護（ターミナル）の内容は昨年度より充実したものとなっていたと思われる。

今後も他職種間との連携、利用者個々の変化に気づく日々の観察強化（特に⑧・⑨・⑩）、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努める。

2 感染症の発生及び蔓延防止（新型コロナウイルスも含む） 実施内容と方法

- ① 年 2 回以上の感染症予防及び発生時の対応方法についてフロアでの職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 通年を通し感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。

- ④ 職員の手洗い、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア2台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑦ 面会は完全予約（看取り期は除く）、時間・人数等を制限し特定の場所で行うことで感染防止に努める。
- ⑧ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑨ 発熱や嘔吐の症状がある場合は、居室隔離対応実施
- ⑩ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
- ⑪ 利用者、コロナワクチン接種実施
- ⑫ 各部署連携し月に一度の感染症対策委員会を実施。
- ⑬ 新規入所や短期入所者に対し入所当日に玄関で、インフル・コロナ抗原検査を実施し陰性を確認後にフロアへ移動
- ⑭ 職員、体調不良から改善し出勤可能な状態の周知

年間目標2に対し①～⑭を念頭に取り組んできた。

今年度の感染症発生状況は

*新型コロナウイルス感染症発生 7月26日 2階フロア 5名 8月11日解放
 新型コロナウイルス感染症クラスター発生
 7月31日 4階フロア 30名 8月24日解放
 抗新型コロナウイルス内服薬投与：1名 入院：2名 施設内死亡：3名

*インフルエンザA型感染症発生 12月30日 4階フロア 1名 2025年1月5日解放
 2025年1月7日 2階フロア 5名 2025年1月16日解放
 抗インフルエンザ治療薬投与で回復も1名 誤嚥性肺炎を併発し入院

感染症全般に対する感染対策は社会的に意識が低下しつつあることや、ウイルスの変化から新型コロナウイルスに感染していても無症状も多く、ウイルスの侵入経路を特定することや早期の発見と隔離は困難となっている。また、抗新型コロナウイルス内服薬が一部自己負担となり使用頻度が低下、症状が長引くなどクラスター発生の一部誘因と考えられた。インフルエンザに関しては、2024年度は全国的に大流行し、職員の意識より適切な判断で検査を実施し対策に努めたことで、一部の感染で留まったと考えられる。面会や外出時（受診も含む）はマスクの着用とその後の状態観察は継続する。職員も自分の体調管理を行い、症状がある時は速やかに受診し必要な治療を受け、持ち込まない・広めないようする。

2025年3月6日 協力医療機関 あきる台病院 ICTによる感染対策ラウンドが行われた。2時間と限られた時間ではあったが、継続点や改善点などの確な指導・助言を受けることが出来た。しかし、参加者数が少なく今後は各部署より1名は参加し的確な指導を直接受けられるようにする。年間を通して、スタンダードブリーチの徹底に努める

3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

実施と内容

- ① 入所時より定期的に利用者のADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は0.62%、褥瘡新規発症者2名、発生率は1.25%となった。次年度以降も褥瘡発生率0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要

2025年3月31日現在の医療処置対応者

胃瘻による経管栄養施行者3名

在宅酸素使用者0名

褥瘡処置者0名

血糖測定者0名

尿道カテーテル挿入者6名

ターミナル対応者7名

9. リハビリテーション事業報告

(1) 総括

令和6年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力の予測とともに日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為のひとつひとつを注意深く観察し、精神的高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2) 実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 温熱療法
- ③ 関節可動域訓練・マッサージ
- ④ 筋力強化、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

(3) 結果

- | | |
|--------------------|-----|
| ・関節可動域の維持拡大、姿勢調整 | 27名 |
| ・起居・移乗・移動動作能力の維持向上 | 22名 |
| ・疼痛の軽減 | 6名 |

以上の結果が得られた。関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。車椅子・歩行器使用者で日々の起居・移乗・移動動作能力の維持・向上を目標とした利用者の訓練の施行。また、体調不良により訓練中止となった利用者においても他部署との連携により早期再開を進め、廃用性の機能低下防止にも努めた。例として、脳梗塞により左上下肢に麻痺症状のある利用者で、機能面に関しては起居動作から移乗・移動動作など食事摂取を除き生活動作に介助を要していた利用者において、関節可動域訓練、筋力強化訓練、起居・移乗動作訓練を集中的に施行した結果、手すりにての起居・起立動作、方向転換などが可能となった他、一部介助での移乗・トイレ使用が可能となり機能回復から生活の質の向上に繋がった利用者。また、スタンダード型車椅子にて食事自己摂取を行っていた利用者が、体調不良により長期臥床を強いられ、体調回復後には頸部・体幹関節可動域制限、姿勢不良により食事摂取量が低下した利用者においては、マッサージによる疼痛の軽減、関節可動域訓練、筋力強化訓練を集中して行った。結果、一部介助での移乗動作・トイレ使用 また、自己にての食事摂取が可能となるなど、体調不良以前の生活レベルまでの機能回復が認められた。

また、アルツハイマー型認知症進行により四肢・体幹の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、排泄・更衣介助の介助量が軽減した利用者もあり大きな成果が得られた。その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。

令和5年度においての感染症によるフローア閉鎖により活動制限から多くの利用者に廃用性の機能

低下がみられた。離床時間の減少から関節可動域制限進行により座位姿勢の不良、排泄介助への影響、筋力低下から起居・移乗・移動動作能力の低下など様々な日常生活動作能力の低下が認められた。その問題に対し早急に全ての利用者に対しての評価、問題点の把握に努め理学療法、生活リハビリを施行した結果、四肢・体幹の関節可動域の維持・拡大、起居・移乗・移動動作能力の回復など、概ね機能回復に繋げることが出来たと思われる。

(4) 反省点

- ① 車椅子座位と臥床時の姿勢不良により、接地部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアーへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアーを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。また、専門職（理学療法士等）の指導により、職員に対する除圧指導を徹底をしていく。

リハビリ実施報告表

R. O. Mマッサージ			温熱療法			起立・バランス・歩行			理学療法士による評価				
月	実施 日数	対象 者数	実 施 人数	実施 日数	対象 者数	実 施 人数	月	実施 日数	対象 者数	実 施 人数	実施 日数	対象 者数	実施評 価人数
4	26	30	300	26	0	0	4	26	25	245	3	30	14
5	27	31	311	27	0	0	5	27	25	246	3	31	16
6	25	32	301	25	0	0	6	25	26	235	3	32	12
7	27	30	259	27	0	0	7	27	24	194	3	30	13
8	26	28	161	28	0	0	8	26	22	118	3	29	12
9	24	26	201	24	0	0	9	24	22	184	3	29	13
10	26	32	233	26	0	0	10	26	26	193	3	29	12
11	24	29	216	24	0	0	11	24	27	196	3	34	13
12	24	31	176	24	0	0	12	24	28	158	3	35	12
1	23	29	123	23	0	0	1	23	28	115	3	34	8
2	24	30	181	24	0	0	2	24	28	156	3	33	14
3	26	30	186	26	0	0	3	26	28	164	3	33	14
計	303	358	2648	303	0	0	計	303	309	2204	36	383	153

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

『法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を柱とし、ご家族および 他職種との連携により、利用者様一人一人が健康で生きがいを持って過ごしていただけるように支援します。』を柱として下記の通り努めました。

I. 利用者様の生活支援

- ・新規入所に当たっては、入所前の情報収集・事前面接等により利用者の状態像の把握に努め、入所判定会議に諮ります。入所判定会議については、基本的に毎週1回の定期開催とし、顧問医師青山先生に同席いただき、関係各部署と情報の共有を図るとともに、受入れの可否及び受け入れにあたっての注意事項などの情報共有に努めています。感染症対策が一定の落ち着きを見せる中、対面での事前面接やご家族との面談の機会も徐々に再開され、より丁寧な情報収集と支援が可能となってきました。引き続き、ご家族様と十分に相談を重ねながら、入所される利用者様が安心して新たな生活を始められるよう、環境の変化への不安を軽減し、スムーズな生活移行に努めています。
- ・入所後の利用者様の生活支援にあたり、利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを繰り返し、各部署からの専門的な意見を重ね、より充実した生活を送っていただけるよう努めています。加齢や疾患によりADLに大きな変化がみられた場合に

は、医師をはじめ各部署からの意見をまとめご家族とも情報を共有し、改めて計画書を作成し状態に合わせたケアの提供に努めています。

- ・ご家族様と綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者様の支援と一緒にやっていくよう努めています。またご家族様の意見その他要望に対して真摯に向き合い、利用者本位のケアの質の向上につなげられるよう努力しています。
- ・看取り介護（終末期ケア）においては、利用者様本人及びご家族様の意向を尊重し、不安や悲しみに寄り添い、最期まで安心して施設内で過ごしていただけるよう努力しています。ご家族様の方からも心のこもった感謝の言葉を頂戴出来るように、今後のケアに活かしていけるようにと考えています。

II. ベッド稼働率

- ・各部署との連携を強化し入所利用者の体調管理に努め、ベッド稼働の安定に努めました。
- ・早期の情報収集・事前面接・入所判定等により、新規利用者のスムーズな入所に努めました。
- ・2024年度は、7月に2階・4階フロアにて新型コロナウイルス感染症の発生と2025年1月に2階フロアでインフルエンザA型の発生があったことから稼働率の回復に時間がかかった部分は否めないものの、2025年度は99%代の稼働率でスタートすることが出来ました。

11. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラブ活動の自粛から、講師の先生方の引退などもあり、今年度も、年度当初から全てのクラブ活動を中止している。しかしながら、利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考え。今後、新型コロナウイルス感染症の流行収束に合わせて、新しいクラブ活動の体制づくりに努めていく事で、利用者の健康や笑顔を引き出せるよう努めていく。

⑤ 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	井上先生	書 道	石井先生
華 道	佐野先生	陶 芸	川口先生
水彩画	職員 室賀		
手 芸	未定		

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：筒井 幸子
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
2) 新型コロナウイルス収束後再び皆さんで楽しんでいただける様準備していきます。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	コロナウイルス感染予防の為中止			10月	コロナウイルス感染予防の為中止	
5月	〃			11月	〃	
6月	〃			12月	〃	
7月	〃			1月	〃	
8月	〃			2月	〃	
9月	〃			3月	〃	

手芸クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	活動中止			10月	活動中止	
5月	活動中止			11月	活動中止	
6月	活動中止			12月	活動中止	
7月	活動中止			1月	活動中止	
8月	活動中止			2月	活動中止	
9月	活動中止			3月	活動中止	

華道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。			10月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
5月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			11月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
6月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			12月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
7月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			1月	新型コロナ対応でクラブ中止	
8月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			2月	新型コロナ対応でクラブ中止	
9月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			3月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：室賀 こずえ
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	講師：川口 由美子
【活動報告】						
新型コロナの影響により活動中止。						

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月25日	観桜会	5階にて模擬店及び太正琴の慰問職員余興を楽しむ。
5月	日帰りドライブ	新型コロナウイルスの関係で中止。
7月27日	納涼盆踊り大会	5階ホールにて模擬店及び職員、ボランティアの踊りと太正琴を楽しむ。
9月8日	敬老会	午前統括施設長、理事長及び福生市長来園にて表彰。祝い膳を楽しむ。
10月19日	文化祭	5階にて模擬店及び作品展示とフラダンスサックス慰問を楽しむ。
11月5日	焼き芋大会	各フロアにて焼き芋を楽しむ。
12月7日	クリスマス会	昼食行事食。午後は各フロアにて慰問とケーキを楽しむ
1月1日	元旦祝膳	昼食は各フロアにて祝膳を楽しむ。午後は手作り神社へ初詣。
2月5日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月7日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

13. 固定資産物品購入・入替 報告

ファンコイル・エアコン入替工事 ポンプ入替工事 パソコン入替 車いすスケール入替
ガス炊飯器入替 製氷機入替 電動自転車購入 送迎車両入替

14. 事故報告、ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	1	1		1				1		1			2
転倒	3 2	4	2		3	1	1	1	3	1	2		23
転落（ベッド）	2	1			2			1		3		1	3
転落（車椅子・椅子）	1												5
ずり落ち（移乗失敗）					1				2				3
剥離・裂傷	1				2		1		2				7
内出血	6	2	2	7	6	8	8	2	6	4		3	49
誤嚥													
異食（誤食）				1		1							4
尻もち					2								3
徘徊（施設外発見）													
徘徊（施設内発見）													
服薬ミス	1		3			1							2
その他		1								1			
合計	9	10	7	9	16	11	9	5	13	10	2	4	107
2階	ヒヤリハット						46件						

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折					1					1			2
転倒	2				2		1	1			1	1	8
転落(ベッド)		1	1		1	1			2			1	7
転落(車椅子・椅子)	1	1			1	1			1	1			6
ずり落ち(移乗失敗)	1		1		1		1	1	1	2	3		11
剥離・裂傷				2				1	2	1			6
内出血	3	4	6	1	2	1	6	4	2	4	4	7	44
誤嚥													
異食(誤食)			2			1	2		1			1	7
尻もち	2	1					1						4
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)													
服薬ミス	1	1					2	3			2	1	10
その他	1		1			1							3
合計	11	8	11	3	8	5	13	10	9	9	10	11	108
3階	ヒヤリハット						74件						

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折													
転倒	1		1	1	2		3	1	2	3	2		16
転落(ベッド)			1	1		1		1		2	3		9
転落(車椅子・椅子)					1						2		3
ずり落ち(移乗失敗)		1	1			1	1		2	1	1		8
剥離・裂傷											1		1
内出血	4	6	7	4	3	9	1	6	3	2	2	5	52
誤嚥				1								1	2
異食(誤食)	1							1			1		3
尻もち		2		1		1	1	1			1	3	10
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)			1				1		1				3
服薬ミス													
その他			1			1				1	1	1	5
合計	6	9	12	8	6	13	7	10	8	9	14	10	112
4階	ヒヤリハット						89件						

15. 職員研修報告

【外部研修】

5	16	安全運転管理者定期総会・講習会	出本栄二
6	11	東社協センター連絡会	佐々木和仁
6	11	東社協センター連絡会	森田律子
6	28	秋川ブロック会研修	佐々木和仁
7	8	初任者研修	石部麻美
7	13	高齢者虐待対応研修	石部麻美
7	23	認知症地域支援推進員研修	石部麻美
8	7	高齢者権利擁護研修	中川祥子
10	8	東社協センター連絡会	佐々木和仁
10	8	東社協センター連絡会	森田律子
10	8	東社協センター連絡会	小川梨奈
10	17	認知症多職種協働研修	石部麻美
10	15	介護支援専門員再研修	佐々木和仁
11	19	介護支援専門員再研修	佐々木和仁
11	25	西多摩保健所感染症研修	本田大輝
11	25	西多摩保健所感染症研修	仲本晴希
12	10	東社協センター連絡会	佐々木和仁
12	10	東社協センター連絡会	森田律子
12	10	東社協センター連絡会	小川梨奈
2	3	東京ケアウイーク 25	井梅直紀
2	3	東京ケアウイーク 25	大野美和
2	18	東社協センター連絡会	佐々木和仁
2	18	東社協センター連絡会	森田律子
2	18	東社協センター連絡会	小川梨奈
2	28	秋川ブロック会研修	佐々木和仁

【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4 月 10 日	A 型肝炎・亜鉛不足	25	青山顧問医師	衛生委員会
2	4 月 18 日	リスクマネジメント	資料	研修委員	実習研修推進委員会
3	5 月 8 日	5 月に注意してほしい感染症	23	青山顧問医師	衛生委員会
4	5 月 16 日	身体拘束廃止、虐待防止	資料	研修委員	実習研修推進委員会
5	6 月 12 日	梅雨時期の感染症/劇症型溶血性レンサ球菌感染症/歯の健康や予防	26	青山顧問医師	衛生委員会
6	6 月 20 日	コミュニケーション	資料	研修委員	実習研修推進委員会
7	7 月 10 日	食事にひそむキケン/健康診断結果を活用しよう	25	青山顧問医師	衛生委員会
8	7 月 18 日	認知症（ラポール形成等）	資料	研修委員	実習研修推進委員会
9	8 月 14 日	コロナウイルス/健康ハートの日	20	青山顧問医師	衛生委員会
10	8 月 15 日	BCP（ハザードマップ確認、災害発生時の対応等確認）	資料	研修委員	実習研修推進委員会
11	9 月 11 日	マイコプラズマ肺炎/肝炎対策/脂肪が燃える運動のコツ	26	青山顧問医師	衛生委員会
12	9 月 19 日	ターミナルケア	資料	研修委員	実習研修推進委員会
13	10 月 9 日	世界メンタルヘルスデー/風邪とインフルエンザの見分け方	23	青山顧問医師	衛生委員会
14	10 月 17 日	リスクマネジメント（事例検討）	資料	研修委員	実習研修推進委員会
15	11 月 15 日	身体拘束廃止/虐待防止	資料	研修委員	実習研修推進委員会
16	11 月 20 日	インフルエンザ/寒暖差疲労	21	青山顧問医師	衛生委員会
17	12 月 11 日	リンゴ病/インフルエンザ/体に良いこと	28	青山顧問医師	衛生委員会
18	12 月 14 日	嘔吐物の取り扱い	資料	研修委員	実習研修推進委員会
19	1 月 3 日	認知症ケア	資料	研修委員	実習研修推進委員会
20	1 月 8 日	風邪の原因ウイルスを知って予防しよう/今日から始める健康習慣	22	青山顧問医師	衛生委員会
21	1 月 16 日	ハラスメント防止/個人情報保護	資料	研修委員	実習研修推進委員会
22	2 月 12 日	鼻水の色で分かる原因と対処法/こころの健康	23	青山顧問医師	衛生委員会
23	2 月 20 日	介護現場での倫理/法令順守	資料	研修委員	実習研修推進委員会
24	3 月 12 日	春にかかりやすい病気/健康クイズ	23	青山顧問医師	衛生委員会
25	3 月 20 日	緊急時の対応（AED）加美町会参加	30	福生消防署	実習研修推進委員会
26	3 月 28 日	BCP（非常食炊き出し/AED 使用/簡易ベッド組み立て等）	15	研修委員	実習研修推進委員会

今年度は新型コロナウイルスも 5 月より 5 類となり、研修の活発化を図りたいところではあったが、施設内での感染症対応などで、研修を行う時間が限れてしまったという事もあり、資料を用いた研修が多くなっていった。また、ノロウイルス感染症が蔓延してしまったことがあったが、研修の時期が遅れてしまっていた。その為、参加できていない職員もおり、認識不足の面が見られた。課題として流行時期の前に優先的研修として組み込んで次年度につなげていきたい。人材に限られている中、多職種で連携し、施設内外の研修に取り組み各自で学ぶ事に努めていた。地域住民参加型研修では、感染症予防対策を掲げ協同でのチーム演習が実施できたことで、より深い交流に結びつく結果となった。感染症に限らず各フロア毎に現状の利用者へのケアを見つめつつ、各課題に沿った研修を実施した。特に専門家の先生からの指導や知識・手段方法に関して新たな学びになったとの職員の声が多く聞かれた。

16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先
4	10	水	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
	28	日	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
5	8	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	21	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	26	日	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
6	2	日	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	5	水	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
	12	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	19	水	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
	23	日	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
7	3	水	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	10	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	26	金	介護ボランティア	3	介護補助等	個人
	28	日	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
	29	月	介護ボランティア	2	介護補助等	個人
	30	火	介護ボランティア	2	介護補助等	個人
	31	水	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
8	1	木	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	2	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	7	水	歌ボランティア	4	歌レク補助	セツブン草の会
	14	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	21	水	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
	25	日	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
	26	月	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	27	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
9	4	水	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助	セツブン草の会
	11	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	22	日	水彩画ボランティア	1	水彩画レク補助	個人
	26	木	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
10	9	水	書道ボランティア	2	書道レク補助	個人
	16	水	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
	22	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
11	6	水	折り紙ボランティア	6	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	11	月	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	13	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	20	水	歌ボランティア	5	歌レク補助等	セツブン草の会
12	4	水	折り紙ボランティア	5	折り紙レク補助等	セツブン草の会
	18	水	歌ボランティア	6	歌レク補助等	セツブン草の会
	25	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	28	土	歌ボランティア	1	歌レク補助等	セツブン草の会
1	8	水	書道ボランティア	1	書道レク補助	個人
	15	水	歌ボランティア	6	歌レク補助	セツブン草の会
	24	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	31	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
2	4	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人

2	5	土	歌ボランティア	1	歌レク補助等	セツブン草の会
	7	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	11	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	12	水	書道ボランティア	3	書道レク補助	個人
	14	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	18	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	19	水	歌ボランティア	5	歌レク補助	セツブン草の会
	25	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	28	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	4	火	歌ボランティア	5	歌レク補助等	セツブン草の会
3	7	金	介護ボランティア	1	介護補助等	個人
	11	火	書道ボランティア	2	書道レク等	個人
	11	火	介護ボランティア	2	介護補助等	個人
	18	火	歌ボランティア	5	歌レク補助等	セツブン草の会
	18	火	介護ボランティア	1	介護補助等	個人

17. 慰問受入状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として行事以外は受け入れ中止。

月 日	慰問者名	人数	行事名等	内 容

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的
R6 7月	7/29～9/9(30日)	多摩リハビリテーション専門学校	2	介護福祉 1-Ⅲ
〃	7/29～8/9	福生第二中学校	4	職場体験
8月	8/1～8/9	福生高校	1	職場体験
9月	9/11～9/13	福生第一中学校	3	職場体験
	9/17～9/19	福生第二中学校	12	職場体験
R6. 1月	1/27～2/6(9日)	多摩リハビリテーション学院専門学校	2	介護福祉 1-Ⅲ

19. 消防訓練実施結果

令和5年度は、新型コロナの影響によって訓練実施が厳しい状況であった。
しかし福生市との協定による避難訓練が継続的に実施できた事は良かったと思われる。
そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

令和6年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月	新型コロナ の為中止	
5 月	新型コロナ の為中止	
6 月	新型コロナ の為中止	
7 月	消防審査会 説明会	新型コロナの為中止
8 月	消防審査会 参加訓練	新型コロナの為中止
9 月 17 日	総合訓練	自衛消防訓練効果確認
10 月	新型コロナ の為中止	
11 月	新型コロナ の為中止	
12 月	防火管理 打ち合わせ	BCP の見直し（防火管理メンバーの見直し）
1 月	新型コロナ の為中止	
2 月 10 日	総合訓練	デイサービスとの利用者様を交えての合同訓練を実施。
3 月 20 日	応急救護訓 練	加美町会との合同訓練として、消防署署員に来園並びに指導し て頂き AED 実施体験訓練を行う。
3 月 28 日	総合訓練	首都直下型地震が発生した想定で福生市との協定により当施 設が福祉避難所に指定されている為、福生市と第2 サンシャイ ンビラ合同でパーテーション及び段ボールベッドの設置訓練 を実施しました。 BCP に基づく炊き出し訓練を実施しました。

20. ショートステイ事業報告

令和6年度は、稼働率80.0%、8.0名／日の目標に対して、稼働率33.0%、3.2名／日の結果となりました。入院者・死亡者が続いた時があり、ロングショート予定の人から、特養入所に切替えになることでロングショートの人数が伸びなかった。令和7年度も引き続き、稼働率80.0%、8.0名／日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

【令和6年度ショートステイ事業活動実績報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
利用者数	11	15	12	10	8	7	7	7	9	8	6	6	106
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	14
要介護度2	3	3	3	3	3	3	2	3	4	3	2	2	34
要介護度3	4	6	4	3	3	2	3	3	3	2	2	3	38
要介護度4	2	4	4	3	1	0	0	0	1	2	1	0	18
要介護度5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
延利用日数	121	231	145	148	82	65	82	81	90	80	32	48	1,205
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	6	6	6	6	6	10	22	6	5	6	6	6	91
要介護度2	19	14	13	10	21	14	12	12	15	15	9	7	160
要介護度3	60	99	32	59	48	41	48	63	42	23	5	35	555
要介護度4	35	81	94	73	7	0	0	0	28	36	12	0	365
要介護度5	1	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
平均ベッド稼働数	4.03	7.45	4.83	4.77	2.65	2.17	2.65	2.70	2.90	2.58	1.14	1.55	年平均 3.29

【ショートステイ利用日数状況調査（年間）】

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	1	3	4	0	1	2	11
5月	0	4	3	2	2	4	15
6月	0	4	3	1	2	2	12
7月	1	2	1	1	2	3	10
8月	1	1	4	0	1	1	8
9月	0	4	1	1	0	1	7
10月	0	1	4	0	1	1	7
11月	0	3	2	0	0	2	7
12月	0	5	1	0	2	1	9
1月	0	3	3	1	0	1	8
2月	1	3	1	1	0	0	6
3月	2	1	1	1	0	1	6
合計	6	34	28	8	11	19	106
	5.7%	32.1%	26.4%	7.5%	10.4%	17.9%	100.0%

*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

2024 年度

通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

事業報告（総括）

今年度は、昨年よりさらに楽しみを増やしたいと考え、暑い夏を除き、毎月御利用者様と一緒に
おやつを作り提供、夏はかき氷の提供を企画し9月初旬の1週間に毎日提供し大盛況でした。また
季節ごとにドライブや2グループによる演奏会、大正琴・ブレイクダンスの慰問、学生と昭和歌謡
と一緒に歌うボランティア、定期的にセツブン草の会による歌や折り紙のボランティア等、多くの
方々に来園していただきました。さらに福生高校よりボランティア計5名（7・8月）、多摩リハビ
リテーション学院より1年生2名5日間の実習（8月）、福生第2中学校より2年生、計5名3日間
（9月）の受け入れを行いました。3月には福生第4小学校より4年生33名が来園しトランプや
折り紙などで一緒に遊び、子供たちと交流を通して活気ある活動ができ、ご利用者様の満足度へ貢
献できました。今後も様々な活動を提供できるよう努めてまいります。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じて
もらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供
の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービ
ス提供することができた。また今年度の通所介護利用者数は、昨年度比3.6%増、1日平均では1人増
となり前年度を上回る事が出来たが、生きがいデイ事業では昨年度比20.2%減、1日平均0.86人減と
かなり厳しい数字となってしまいました。目標達成に向け更なる努力をし、利用者数増加に向けて取
り組んで参ります。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 総合事業

	常勤		非常勤	
職種	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管理者	1人	他事業を兼務		
生活相談員	2人	内1人は介護職兼務	2人	介護職を兼務
介護職員	2人	内1人は生活相談員兼務	14人	内2人は生活相談員兼務
看護職員	0人		3人	機能訓練指導員を兼務
機能訓練指導員	0人		3人	看護職員を兼務
調理員	必要数			
運転手	必要数		必要数	全利用日送迎時間帯に勤務
事務職員	1人	他事業を兼務		

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	681	710	674	665	673	578	675	669	658	591	585	635	7,794
今年度	649	673	692	751	751	736	726	712	633	580	557	575	8,035
要介護1	219	266	261	279	257	227	226	227	196	177	174	194	2,703
要介護2	243	245	224	277	286	282	248	225	197	157	150	177	2,711
要介護3	149	121	168	153	162	183	210	216	207	205	198	173	2,145
要介護4	38	41	36	39	38	36	33	35	25	33	19	18	391
要介護5	0	0	3	3	8	8	9	9	8	8	16	13	85
今年度-前年度	-32	-37	18	86	78	158	51	43	-25	-11	-28	-60	241

併設型通所介護 一日平均利用者数

単位：
人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
平均利用者数 ① ÷ ②	24.96	24.93	27.68	27.81	27.81	29.44	26.89	27.38	24.35	24.17	23.21	22.12	25.92
延べ利用者数 ①	649	673	692	751	751	736	726	712	633	580	557	575	8,035
開所日数 ②	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	310

日常生活支援総合事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	20	23	22	21	23	18	21	21	21	22	23	25	260
今年度	27	25	23	26	27	25	28	25	17	15	40	35	313
要支援 1	4	4	8	4	5	12	15	12	4	4	4	0	76
要支援 2	23	21	20	22	22	13	13	13	13	11	36	35	242
今年度-前年度	7	2	1	5	4	7	7	4	-4	-7	17	10	53

日常生活支援総合事業 一日平均利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	1.04	0.93	0.92	0.96	1.00	1.00	1.04	0.96	0.65	0.63	1.67	1.35	1.01
延べ利用者数 ①	27	25	23	26	27	25	28	25	17	15	40	35	313
開所日数 ②	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	310

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修等の参加を推進し介護職員のスキル向上を目指した。

研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

【施設設備改善及び備品購入報告について】

① 物品購入実績 送迎車両1台入替

② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

【高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告】

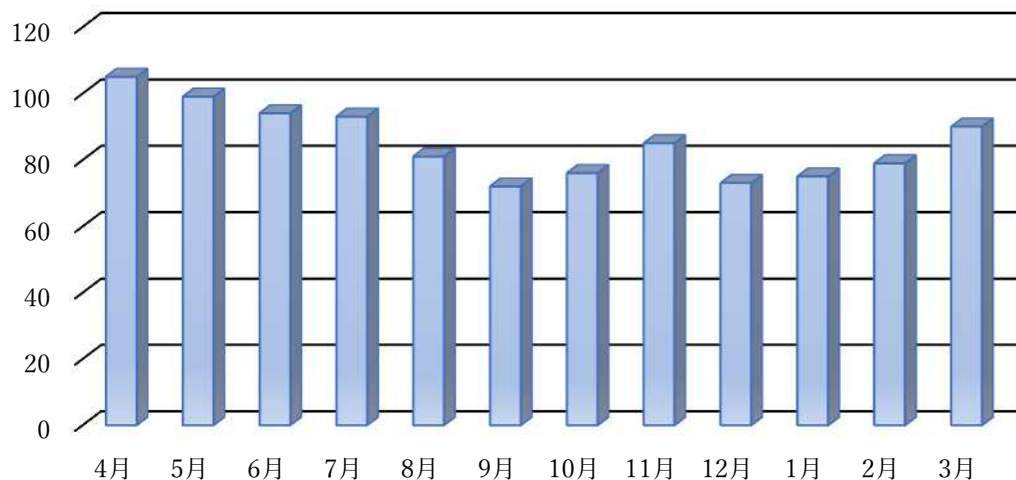
福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。今年度はドライブや外出等の活動も積極的に行う事が出来、利用者から喜ばれた。ただ利用者数は、昨年度比20.2%減、1日平均0.86人減と目標からかなり厳しい数字となってしまいました。

高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビル)

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	105	99	94	93	81	72	76	85	73	75	79	90	1,022

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業利用人員
(第2サンシャインビル)

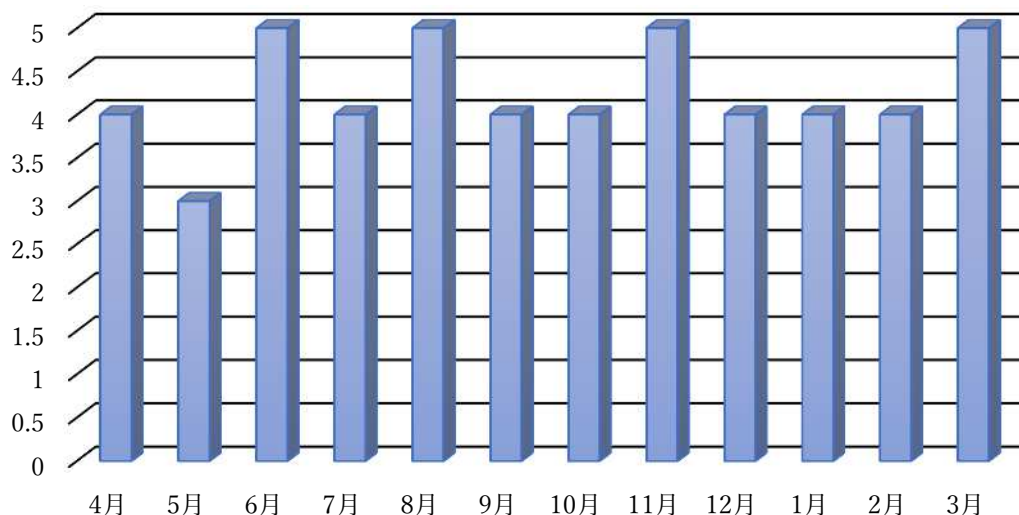


高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス（一般浴）延べ利用人員実績簿

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	4	3	5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	51

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業入浴者人員



ふれあい

令和6年4月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	ロボお手玉	ヤクルト山積み	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム	タオル山積みゲーム
	セツブン草 (折り紙)	魚釣りゲーム	CDカーリング	椅子玉寄せ	スマートボール	ペットボトル起こし
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	ヤクルト山積み	田植えゲーム
	カーリングゲーム	コップ投げゲーム	大砲ボーリング	ゆらゆら傘	ペットボトルボーリング	後ろ向き玉入れ
	書道			ひまわり美容室		
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	輪投げビンゴ	串刺しゲーム	タオル山積みゲーム	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	お手玉積み上げ
	セツブン草 (歌)	ロボお手玉	ヤクルト山積み	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	ヤクルト山積み	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム	タオル山積みゲーム	数えてペグ挿し
	魚釣りゲーム	CDカーリング	椅子玉寄せ	観桜会	ペットボトル起こし	スマートボール
	誕生食	誕生食	誕生食		水彩画 移動美容室	
28日	29日	30日	31日			
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)			
	割りばしゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉			
	コップ投げゲーム	大砲ボーリング	ゆらゆら傘			

卯月…春眠暁を覚えずと申します通り、心地よい季節になりました。

『三寒四温』

暖かい日には少しずつ身体を動かして、“温”の食材を摂り入れながら体の中も温めて下さい。

- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい!

令和6年5月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
			1日	2日	3日	4日
			展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
			ヤクルト山積み	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム
			CDカーリング	椅子玉乗せ	スマートボール	ペットボトル起こし
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	タオル山積み	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	ヤクルト山積み
	魚釣りゲーム	カーリングゲーム	コップ投げゲーム	大砲ボーリング	ゆらゆら傘	ペットボトルボーリング
				ひまわり美容室		
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム	タオル山積み	数えてペグ挿し	割りばしゲーム
	後ろ向き玉入れ	CDカーリング	椅子玉乗せ	スマートボール	ペットボトル起こし	魚釣りゲーム
	書道					
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	お手玉積み上げ	ロボお手玉	ヤクルト山積み	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム
	セツブン草	コップ投げゲーム	大砲ボーリング	ゆらゆら傘	ペットボトルボーリング	後ろ向き玉入れ
	(歌)				移動美容室	
				誕生食	誕生食	誕生食
26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	
	タオル山積み	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	
	CDカーリング	椅子玉乗せ	スマートボール	ペットボトル起こし	カーリングゲーム	
					水彩画	

皐月・・・風薫るさわやかな季節となりましたがお元気でいらっしゃいますか

この時期から心配なのは『熱中症』です。実は5月～6月はすでに熱中症の方が増えています。

『急に気温が上がる日』『風が弱く湿度が高い日』は熱中症に注意しましょう。



★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、屋食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としや汚れた場合、交換が出来ます。

★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい!

令和6年6月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
6月 梅雨						1日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 椅子玉寄せ
2日	3日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ セツブン草 (折り紙)	4日 串刺しゲーム ペットボトル起こし	5日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 魚釣りゲーム	6日 数えてベグ挿し カーリングゲーム	7日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 大砲ボーリング 手作りおやつ	8日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム
9日	10日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ 書道	11日 ロボお手玉 ゆらゆら傘	12日 展望風呂 (午前・午後) コップ積み上げ ペットボトルボーリング	13日 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ ひまわり美容室	14日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ CDカーリング	15日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム スマートボール
16日	17日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み セツブン草 (歌)	18日 数えてベグ挿し 椅子玉寄せ	19日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトル起こし	20日 お手玉積み上げ 魚釣りゲーム	21日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム 移動美容室	22日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カラオケ
23日	24日 展望風呂 (午前・午後) コップ積み上げ 大砲ボーリング 誕生食	25日 田植えゲーム コップ投げゲーム 誕生食	26日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘 誕生食	27日 串刺しゲーム ペットボトルボーリング	28日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み カラオケ 水彩画	29日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 慰問(大正琴) 願壺流
30日						

水無月…梅雨空のうっとうしいこの頃、お障りなくお過ごしでしょうか？

高齢者の場合、突然、重症の熱中症になるケースや、死亡例も多いので特に注意が必要です。

高齢になると老化により、暑さを感じにくくなります。熱中症になったことに気がつかず、気づいた時には症状がかなり進行し、重症化してしまっています。

★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。

★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい!

令和6年7月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム	タオル山積み	数えてペグ挿し	割りばしゲーム
	セツブン草 (七夕折り紙)	椅子玉乗せ	ペットボトル起こし	魚釣りゲーム	カーリングゲーム	カラオケ
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	お手玉積み上げ	ヤクルト山積み	ロボお手玉	コップ積み上げ	田植えゲーム	輪投げビンゴ
	カラオケ	大砲ボーリング	コップ投げゲーム	ゆらゆら傘	ペットボトルボーリング	後ろ向き玉入れ
	書道			ひまわり美容室		
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	串刺しゲーム	タオル山積み	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	ヤクルト山積み	お手玉積み上げ
	CDカーリング	スマートボール	椅子玉乗せ	ペットボトル起こし	カラオケ	魚釣りゲーム
					水彩画	
				誕生食	誕生食	誕生食
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	ヤクルト山積み	ロボお手玉	コップ積み上げ	田植えゲーム	輪投げビンゴ	串刺しゲーム
	カーリングゲーム	カラオケ	大砲ボーリング	コップ投げゲーム	ゆらゆら傘	ペットボトルボーリング
					移動美容室	納涼祭
28日	29日	30日	31日			
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)			
	タオル山積み	数えてペグ挿し	田植えゲーム			
	椅子玉乗せ	ペットボトル起こし	カラオケ			

文月…小暑を迎え日増しに暑くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

熱中症予防の基本は、暑さを避けることと、こまめに水分補給をすることです。室内では、扇風機や冷房などで室温を調整し、こまめな換気などで熱をこもらせない対策も重要です。食事はバランスよく食べ、朝ご飯をしっかり食べる事も大切です。朝食で栄養と水分をしっかり摂りましょう。

★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。



★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。

★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい!

令和6年8月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
				数えてペグ挿し カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み セツブン草		展望風呂 (午前・午後) コップ積み上げ ペットボトルボーリング		展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム スマートボール
				田植えゲーム 後ろ向き玉入れ ひまわり美容室		
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み カラオケ 書道		展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトル起こし		展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 大砲ボーリング
				ヤクルト山積み 魚釣りゲーム		
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 セツブン草		展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ゆらゆら傘		展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 後ろ向き玉入れ 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み CDカーリング
				ペットボトルボーリング		
		ドライブ	ドライブ	ドライブ	ドライブ	
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し スマートボール 誕生食		展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム 誕生食		展望風呂 (午前・午後) コップ積み上げ カラオケ 水彩画	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム コップ投げゲーム
		割りばしゲーム 魚釣りゲーム 誕生食		ロボお手玉 大砲ボーリング		

葉月...うだるような暑さが続いておりますが、皆様お触りなくお過ごしでしょうか。

夏こそ、温かい食事をとり冷たいものばかりでなく常温や温かい飲み物も飲むようにして、胃腸を守りましょう。高温多湿の日本の夏を避けて通ることはできません。

自分にあった夏バテ解消法を取り入れて、夏を楽しみましょう!!



- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい

令和6年9月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

秋

日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し セツブン草	割りばしゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム	ヤクルト山積み ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) コップ積み上げ 後ろ向き玉入れ
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カラオケ 書道	輪投げビンゴ CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム スマートボール	タオル山積み 椅子玉乗せ ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 魚釣りゲーム
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム 敬老の日	ヤクルト山積み カラオケ 敬老の日おやつ	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲ボーリング	コップ積み上げ コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトルボーリング
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 後ろ向き玉入れ	タオル山積み スマートボール	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し 椅子玉乗せ	割りばしゲーム ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング
29日	30日					誕生食
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 大砲ボーリング					誕生食

長月・・・すがすがしい秋風の吹く頃となりましたが、いかがお過ごしでいらっしゃいますか

9月は気候の変わり目で、時間帯により気温の差や日照時間が短くなることもあり、自立神経に乱れが生じやすいです。片頭痛や倦怠感、肩こりが酷い、頭が重たい感覚がある人は気象病の可能性があるので、自立神経を整える生活習慣を身に付けましょう。

- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい！

令和6年10月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
		1日	2日	3日	4日	5日
		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
		お手玉ゲーム	紙皿グラグラゲーム	タオル山積み	串刺しゲーム	お手玉積み上げ
		CDカーリング	椅子玉乗せ	コップ投げゲーム	ペットボトル起こし	カーリングゲーム
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
ロボお手玉	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	ヤクルト山積み	輪投げビンゴ	田植えゲーム	田植えゲーム
セツブン草	ゆらゆら傘	スカット玉入れ	CDカーリング	椅子玉乗せ	ペットボトルボーリング	ペットボトルボーリング
				ひまわり美容室		
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
お手玉ゲーム	紙皿グラグラゲーム	タオル山積み	串刺しゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	ロボお手玉
カラオケ	お魚釣りゲーム	CDカーリング	椅子玉乗せ	コップ投げゲーム		
書道			手作りおやつ			文化祭
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
数えてペグ挿し	割りばしゲーム	ヤクルト山積み	輪投げビンゴ	田植えゲーム	お手玉ゲーム	お手玉ゲーム
セツブン草	カーリングゲーム	後ろ向き玉入れ	ゆらゆら傘	みんなで歌おう	スカット玉入れ	スカット玉入れ
				水彩画		
				移動美容室		
27日	28日	29日	30日	31日		
展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)		
紙皿グラグラゲーム	タオル山積み	串刺しゲーム	お手玉ゲーム	お手玉ゲーム		
CDカーリング	椅子玉乗せ	ペットボトルボーリング	大砲ボーリング			
誕生食	誕生食	誕生食				

神無月・・・10月とは思えないほど強い日が続いておりますが、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

食欲の秋と言われる旬を迎え、美味しくなる食材が多い季節となります。

秋の食材には、美味しさ以外に夏の暑さで弱った体調の回復や、冬に備えての栄養を蓄える効果が期待できる物が多くあります。なんでも食べよう！食欲の秋



★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。

★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい!

令和6年11月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
					1日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 椅子玉乗せ	2日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム コップ投げゲーム
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトル起こし	5日 串刺しゲーム カーリングゲーム 焼き芋大会	6日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘	7日 ロボお手玉 スカット玉入れ	8日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し CDカーリング	9日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 椅子玉乗せ
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ 書道	12日 輪投げビンゴ ペットボトルボーリング	13日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム お魚釣りゲーム	14日 お手玉ゲーム CDカーリング ひまわり美容室	15日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム 椅子玉乗せ	16日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み コップ投げゲーム
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム セツフン草 手作りおやつ	19日 お手玉積み上げ カーリングゲーム ドライブ	20日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 後ろ向き玉入れ ドライブ	21日 数えてペグ挿し ゆらゆら傘 ドライブ	22日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム カラオケ 水彩画 移動美容室	23日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スカット玉入れ
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ CDカーリング	26日 田植えゲーム 椅子玉乗せ	27日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム ペットボトルボーリング	28日 紙皿グラグラゲーム 大砲ボーリング 誕生食	29日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ゆらゆら傘 誕生食	30日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム お魚釣りゲーム 誕生食

霜月…最近は気候が様々で11月でもだいぶ暖かい日があつたりしますが、暦の上では『冬』に入ります。

野菜や果物をたくさん食べることで免疫力を高め、加工食品を避けることで健康な体を維持することができます。また水をたくさん飲んで水分補給をすることも大切です。



- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム セツブン草 (折り紙)	お手玉ゲーム カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム ゆらゆら傘	タオル山積み スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ クリスマス演奏会
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 椅子玉寄せ	数えてベグ挿し ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム お魚釣りゲーム	ヤクルト山積み CDカーリング ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム コップ投げゲーム
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム セツブン草 (歌)	紙血グラグラゲーム 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み カーリングゲーム	串刺しゲーム 職員による出し物	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 歌と踊りのショー	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大正琴&踊り
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し カラオケ 書道	割りばしゲーム スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み CDカーリング 手作りおやつ	輪投げビンゴ 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ペットボトルボーリング 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 大砲ボーリング
29日	30日	31日				
	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム 大砲ボーリング	タオル山積み ペットボトル起こし				

師走 いよいよ本格的な冬将軍の到来です。

日頃の感染予防対策を継続しながら、こまめな水分補給と栄養たっぷりの食事に
睡眠、軽い運動を行いながら新しい年をお迎え下さい。

年明けは4日(土)から開所します。

☆ 誕生日の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・
地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使
い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予
備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます。

☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

よいお年を
お迎えください

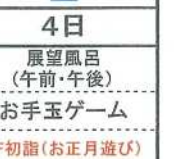


ふれあい!

令和7年1月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
						
		1日	2日	3日	4日	5日
		お正月				展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 5F初詣(お正月遊び)
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム お魚釣りゲーム	お手玉ゲーム CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム 椅子玉乗せ	タオル山積み コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ
	手作りおやつ(甘酒)			ひまわり美容室		
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カラオケ 書道	数えてペグ挿し カーリングゲーム 防災訓練	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム スカット玉入れ	ヤクルト山積み CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 椅子玉乗せ
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム セツブン草 (歌)	紙血グラグラゲーム ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 大砲ボーリング	串刺しゲーム お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 慰問 フレイクダンス
26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し カーリングゲーム	割りばしゲーム ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スカット玉入れ	輪投げビンゴ CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カラオケ 水彩画	

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

1月1日～3日までデイサービスはお休みです。

- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい

令和7年2月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
						1日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 節分 (豆まき)
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム セツブン草 (工作)	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲ボーリング
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 防災訓練 	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カラオケ 手作りおやつ 水彩画	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し コップ投げゲーム
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム セツブン草 (歌)	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング 誕生食	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 椅子玉寄せ 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し コップ投げゲーム 誕生食	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲ボーリング
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム カラオケ 書道	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム ペットボトルボーリング 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲ボーリング	Happy Valentine's Day

如月(きさらぎ)の語源は諸説ありますが、寒さが厳しい時期に衣をさらに着るという意味の『衣更着(きさらぎ)』という説が有力です。

2月は寒さ厳しい中にも、少しずつ春の兆しが見え始める時期ですが、急激な温度差は大敵です。暖かい部屋から寒い浴室やトイレには十分気を付けましょう。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。



☆ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。

☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい!

令和7年3月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
						1日 展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム ひな祭り (甘酒)
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム セツブン草 (工作)	タオル山積み CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 椅子玉乗せ	お手玉積み上げ コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 後ろ向き玉入れ
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム カラオケ 書道	ヤクルト山積み 防災訓練	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトルボーリング	田植えゲーム 慰問 (どよ風) ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) お手玉ゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム スカット玉入れ
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み セツブン草 (歌)	串刺しゲーム お魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング 手作りおやつ	春分の日 ロボお手玉 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトル起こし
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 後ろ向き玉入れ 誕生食	輪投げビンゴ カーリングゲーム 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ペットボトルボーリング 誕生食	お手玉ゲーム 大砲ボーリング 	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム カラオケ 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み スカット玉入れ 
30日	31日					
	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム お魚釣りゲーム					

弥生 (やよい)

3月は春の訪れを感じる季節ですが、同時にさまざまな病気が流行しやすい時期でもあります。

特にインフルエンザ・感染性胃腸炎・食中毒などが猛威を振るい、多くの人が体調を崩す原因となっています。『もう冬が終わったから大丈夫』と油断していませんか？実は、気温の変化、花粉の影響、免疫力の低下が重なり、感染症リスクが高まるのがこの時期なのです。

- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には**新しいマスク**(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か**洗濯をされたマスク**の着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ **ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。**

2024年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告

- 本年度は年間延べ2,617件（前年度2,457件）のケアプラン作成業務を行った。
- 福生市等からの委託業務である介護予防ケアプラン作成受託業務等を積極的に行った。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡につとめた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理を徹底した。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
- 東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録し、実習生を受け入れた。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたってきた。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）
センター長	1名
管 理 者	1名（主任介護支援専門員 1名）
介護支援専門員	8名（主任介護支援専門員 1名兼務）

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
ケアプラン 作成	213	212	214	223	227	217	220	215	224	223	216	213	2617

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 受託	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	8	10	85

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定 調査	0	5	0	0	0	9	2	0	2	0	0	0	18

研修・会議等出席状況

月 日	研修名称等	出席職員
4月	事業所内研修「介護支援専門員倫理綱領」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・志村
	第1回主任介護支援専門員連絡会	新橋・野元・大谷
5月	事業所内研修「プライバシー保護の取組に関して」	新橋・奥村・大八木・野元・野元・日下
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催研修「高齢者虐待の防止と権利擁護」	奥村・野元・日下
6月	新規オープン施設見学「デ・イビスお〜くす」	新橋・奥村・大八木・野元・志村
	第2回 福生市主任介護支援専門員連絡会「事例検討会」	新橋・野元
7月	福生市介護保険事業者連絡協議会/ケアマネ部会主催研修「キズの手当・褥瘡ケアのキホン」	新橋・奥村・大八木・日下
	新規オープン施設見学「ふきのとうの家」	新橋・
	福生市地域包括支援センター熊川主催「難病支援制度・障害福祉課との連携」	新橋・野元
	福生市地域包括支援センター加美主催「加美地区 個別地域ケア会議」	新橋
8月	第3回 福生市地域包括支援センター加美主催研修「予防プラン」「ケアプラン相談会」	大谷・日下
9月	(有)アシスト/福生市介護保険事業者連絡協議会主催研修・事例検討「ヤングケアラー等や障がい者、生活困窮者、難病患者など、高齢者以外の対象者への支援」	新橋・大谷
	日の出町ケアマネジャー連絡会主催研修「認知症の人のかたくなな気持ちを解きほぐす、これからの認知症介護」	新橋・大谷
	西多摩保健所/西多摩保健所・精神保健福祉講演会「アルコール問題をもつ高齢者と家族に対する相談支援」	志村
10月	第4回 福生市主任介護支援専門員連絡会「事例検討会」	新橋・志村
	(有)アシスト主催研修「業務継続計画（BCP）で必要な電源確保に関する知識と始動訓練、徒歩通勤訓練について」	新橋
11月	事業所内研修「高齢者虐待・身体拘束防止」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下
	事業所内研修「ハラスメント対策」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・志村
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催研修「地域連携」	大八木・野元・大谷・日下
	福生市地域包括支援センター社会福祉士連絡会主催研修「高齢者虐待かも？と思ったら・・・」	大八木・大谷・志村
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催研修「利用者と自分の為に考えるACP」	野元・大谷・志村
12月	事業所内研修「BCP対策とは？」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・志村
	弁護士法人おかげさま主催「入居者家族とのトラブル対応時間を90%削減する方法（カスハラ対策）」	新橋・奥村
	事業所内研修「感染症の予防及びまん延防止に関する研修・及び訓練」	新橋・奥村・大八木・野

		元・大谷・日下・志村
	第5回 福生市主任介護支援専門員連絡会主催研修「医療連携」	大谷
	令和6年度第2期 東京都介護支援専門員更新研修32時間	日下
	デｲﾂﾞｰﾋﾞｽお～くす主催/運営推進会議	志村
1月	事業所内研修「認知症の医学的知識、周辺症状について」	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・日下・志村
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催「賀詞交換会」	新橋・大八木・野元・大谷
	事業所内研修（新人）「身体拘束防止研修」「ハラスメントについて」「感染症の予防及びまん延防止に関する研修」「認知症研修」	安藤
2月	福生市地域包括支援センター加美・武蔵野主催研修「セルフ・ネグレクトへの基本」「事例検討」	新橋・大谷・日下・志村
	第6回 福生市主任介護支援専門員連絡会・社会福祉士連絡会主催研修「高齢者虐待について」「事例検討」	新橋・大谷・安藤
	東京都福祉局主催「令和6年度 居宅介護支援事業所 管理者向けケアマネジメント支援研修」	新橋
	東京都福祉保健財団主催「令和6年度 高齢者虐待防止研修」	新橋
	福生クリニック主催研修「介護拒否への対処から、かたくなさを解きほぐすケア」	大八木・志村
	事業所内研修（新人）「BCP対策」「介護支援専門員倫理綱領」	安藤
	あきる野市介護保険課/薬の知識・医療/福祉専門職との連携	志村
3月	他法人と共同で行う事例検討会	新橋・奥村・大八木・野元・大谷・安藤・日下
	公益社団法人 国民健康保険中央会主催「ケアプランデータ連携システム・フリーパスキャンペーン説明会」	新橋
	新規オープン施設見学「ブルーミングケア福生熊川」	新橋・奥村・野元・大谷・安藤・日下
	第2サンシャインビラ、福生市役所との合同訓練「BCP対策に基づく防災訓練」	大八木・野元
	第2サンシャインビラ、加美町会、消防署との合同訓練「AED訓練」	大谷・日下
	あきる野市介護保険課・カスタマーハラスメントとクレーム対応について	志村
※特定事業所加算Ⅱ算定要件による定期的な会議の実施（週1回以上実績） ※新人、介護支援専門員入職時研修実施 ※介護支援専門員に対する継続的な個別研修を実施 ※東京都介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れ ※東京都介護支援専門員研修課程Ⅰ・Ⅱ ※主任介護支援専門員研修 ※主任介護支援専門員更新研修 ※他法人との共同研修		

令和 6 年度

福生市地域包括支援センター加美

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

【配置職員】

センター長	1名(兼務)
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名(R7年2月退職)
経験のある看護師兼認知症地域支援推進員	1名
第2層生活支援コーディネーター兼介護支援専門員	1名
認定調査員(介護支援専門員)	2名(非常勤)

令和6年度は、関係機関との連携を図り、地域の高齢者の支援を行ってきた。事業所前に福祉バスの停留所ができたこともあり、来所での相談も多くなっている。地域包括支援センター加美を認識していただけるようになっています。

福生市役所に行ったが、「包括支援センター加美に相談してくださいといわれました」と言って相談に来られる方が増えています。令和6年度は生活困窮や虐待事例、成年後見制度活用への支援、65歳以下の障害の方への支援などの相談があり、重層的な支援のための各機関との連携がこれまで以上に必要な年度となりました。

事業内容

総合・相談支援事業

昨年度は項目の選択数をそのまま類型として数えていましたが、本年度は項目の選択数に制限をつけて、類型をしているため、3包括ともに数字としては減っていますが、実際の相談件数はやや多くなっていると思います。

・開所日・相談実人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所 日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25
相談実 日数	106	113	109	128	108	92	121	109	101	101	110	97

連絡会

	開催日
地域包括支援センター見守りステーション連絡会 (毎月)	4/26、5/31、6/28、7/26、8/29、9/27 10/27、11/21、12/19、1/16、2/6、3/28

- ・専門職連絡会 R6 年 8 月から約 3 か月に 1 度の開催となった（主マネ連絡会を除く）

	開 催 日
医療職連絡会（約3か月に1回）	4/11、5/16、6/6、7/11、10/10、1/9、
主任介護支援専門員連絡会 （毎月）	4/19、5/16、6/6、7/18、8/15、9/19、 10/欠、11/25、12/19、1/欠、2/6、3/欠
社会福祉士連絡会 （約3か月に1回）	4/23、5/28、6/25、7/23、8/27 10/欠、12/16、3/欠
生活支援コーディネーター連絡会 （約3か月に1回）	4/17、5/15、6/19、7/17、12/18

- ・介護予防リーダー合同連絡会参加：なし

- ・開催した個別地域ケア会議

実施日	内 容
7月31日	「外国語でのコミュニケーションを必要とする高齢者の支援について」
11月26日	「介護保険更新により、通所サービスが減ってしまった方への活動低下予防のための新たな居場所づくりについて」
2月25日	「他市から移動された方に不利益とならないよう支援を行う」
3月28日	「ヘルパーが不足する中、どのようにインフォーマルサービスで補うことができるか」

- ・参加した個別地域ケア会議

実施日	内 容	
8月22日	「認知症の利用者で、医療介護につながらない方の支援」 （武蔵野包括）	中川

【認知症総合支援事業】

- ・介護者相互の交流会＜オレンジカフェ加美＞】

認知症当事者の方、その方のご家族、支援している方などが、認知症等について日頃の悩みなどを語り合い、交流を深めることができる憩いの場として実施しました。

実施日	会 場	参加者数
5月29日	公立福生病院(2F レストランピアモール)	3
7月27日	第2サンシャインビル(地下クラブ室)	4
10月19日	第2サンシャインビル(//)	14

・認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解をもち、認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう地域で一緒にサポートをしていただける方を増やしていくために実施しました。

実施日	会 場	参加者数
9月28日	かえで会館 (加美平団地老人会)	15

【包括的・継続的ケアマネジメント支援事業】

・市内主任介護支援専門員連絡会

介護支援専門員、地域の関係者等、地域における多職種相互の連携を図り、地域課題を把握して問題解決の為に協議を実施しました。また、主任介護支援専門員などのネットワークを運営し、各事業所における個別援助技術の向上に努めました。

終了後は、ケアプラン相談会を実施。

実施日	内 容	参加者数(人)
4月26日	令和6年度の事業について等	21
6月28日	事例検討、委託プランについて、情報共有等	13
8月25日	介護予防プランについて(初任者向け研修)講師:秋和氏、情報共有等	15
10/25(欠)	事例検討、情報共有等	14
12月20日	ミニ講座「医療連携」講師:福生病院三上氏、情報共有等	11
2月28日	「高齢者虐待について」講師:社会福祉士連絡会、事例検討、情報共有等	14

・介護支援専門員・居宅サービス事業所向け 包括主任介護支援専門員連絡会主催研修会

実施日	内 容	参加者数
7月26日	「障害福祉について」(熊川主催に手伝い)	
11月22日	「自分のために考える ACP」(加美主催)	16

2月21日	「セルフネグレクトへの支援の基本」 (講師調整:包括加美、事例提供:武蔵野包括)	20
-------	---	----

【市民向け研修/介護予防の啓発/出前講座】

- ・高齢になっても安心して地域で生活できるよう、関心の高い課題を取り上げ、小地域福祉活動や地域へ出向き、研修等を計画・実施しました。

実施日	対象	内容	参加者数(人)
12月10日	むつみ会館	「介護保険・施設について」	20

【家族介護者教室の開催】

- ・高齢者を介護している家族や、これから介護に携わる方、支援者に対し介護方法等についての教室を開催しました。

実施日	内 容	参加者数(人)
11月19日	「介護保険と施設について知っておこう」	13

【権利擁護事業】

高齢者虐待やセルフネグレクト、生活困窮、成年後見制度の活用支援等権利擁護に関する支援が増えていきます。

・市民向け講座 包括社会福祉士連絡会主催

実施日	内 容	参加者数(人)
11月28日	「高齢者虐待かも？と思ったら」	13

・コアメンバー会議への参加

【参加した地域活動/合同講演会など】

実施日	内 容	会 場	参加職員
6月13日	元気はつらつ教室	楓会館	中川
9月5日	児童民生委員連絡会	第2サンシャインビラ	勝田・石部
9月28日	介護予防記念講演会	もくせい会館	中川
11月9日	加美町会文化祭	加美公会堂	石部・中川

【その他】

参加した研修

実施日	内 容	主 催	会 場	参加職員
4月26日	ふくふくネット(「うつ」について)	公立福生病院	WEB	勝田
5月10日	R6 年度介護報酬改定及び介護保険制度の理解		WEB	中川
5月22日、 23日	R6 年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修」基礎研修第1回		あいおいニッセイ同和損保 新宿ビル	石部
5月24日	ふくふくネット	公立福生病院	WEB	石部
6月23日	ふくふくネット	公立福生病院	WEB	大西 白川
6月中	2024 年介護報酬改定について～介護報酬請求時における事務上のポイントとは～		WEB	勝田、石部、 白川、中川
7月8日・ 7月9日	地域包括支援センター初任者研修			石部
7月13日	東京都看護師認知症対応力向上研修		福生市民会館	石部
7月23日・ 7月24日	認知症地域支援推進員研修		TKP ガーデン シティ 田町	石部
8月7日	権利擁護テーマ別実践研修		あいおいニッセイ同和損保 新宿ビル	中川
9月4日	歯科医に学ぶオーラルフレイル Q&A		もくせい会館	中川
11月22日	自分のための ACP	包括支援センター加美	福祉センター	石部 勝田
12月6日	高齢者間の配偶者暴力(DV)		WEB	中川
12月20日	ふくふくネット(誤嚥性肺炎予防)	公立福生病院	WEB	勝田
2月21日	セルフネグレクトへの支援の基本	包括支援センター加美	福祉センター	石部 勝田

会議への出席

実施日	内 容	実施主体	会 場	参加職員
4月24日	レコードブック運営推進会議	レコードブック	レコードブック	中川
7月9日	西多摩地区包括支援センター連絡会	福生市高齢福祉課	もくせい会館	勝田 中川
7月17日	R6年度第1回福生市地域包括支援センター運営協議会	福生市高齢福祉課	もくせい会館	中川 白川
8月 21日	西多摩保健所連絡会 (事例検討)	西多摩保健所	市役所第3 会議室	石部 中川
10月9日	西多摩地区地域包括支援センター連絡会(社会福祉士会)	福生市高齢福祉課	もくせい会館	白川
11月1日	地域密着型通所介護 運営推進会議	リハビリセンターあ おぞら	リハビリセンタ ーあおぞら	勝田
12月3日	西多摩地区地域包括支援センター連絡会(医療職)	福生市高齢者支援 係	もくせい会館	石部
12月13	地域密着型通所介護 運営推進会議	樹楽デイサービス	樹楽デイサービス	白川
1月10日	虐待引き離し者カンファレンス (関係者にて)	駒木野病院	駒木野病院	中 川 ・ 石部
1月21日	西多摩地区地域包括支援センター連絡会 (主任介護支援専門員連絡会・介護支援専門員)	福生市高齢福祉課	福生市	中川
2月5日	福生市地域包括支援センター運営協議会	福生市高齢福祉課	もくせい会館	中川 石部
2月13日	福生市高齢者虐待防止連絡会	福生市高齢福祉課	もくせい会館	中川 白川
3月7-9 11-13 日	認定調査員研修	東京都高齢者福祉 局	WEB	渡辺

認定調査実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	39	33	31	38	33	38	35	22	29	21	15	10
(委託)	(5)						(1)					(1)

(委託先は介護プランセンターサンシャインビラ)

令和6年度

福生市高齢者見守りステーション

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

高齢者見守りステーション

【配置職員】

相談員 大河原 希充子
相談員（非常勤） 鈴木 敦子

高齢者見守りステーションは、福生市全域の概ね 65 歳以上の一人暮らし世帯・高齢者のみで構成する世帯に属する者・日中独居及び心配情報のあった高齢者について、福生市から委託を受けた以下の業務について運営した。

●高齢者見守り相談窓口の設置

●在宅高齢者の生活実態の把握と見守り

- ・介護保険サービスまたは地域包括支援センターの支援を受けていない高齢者を対象とし訪問した。
- ・戸別訪問や電話等の適切な手段により情報収集・生活実態の把握を行った。
- ・支援が必要であるのに自ら声をあげない高齢者の掘り起しを行った。
- ・地域住民等からの心配情報により必要がある場合は戸別訪問し状況確認を行った。
- ・生活実態を把握し必要があれば情報提供・関係機関へ繋げた。

●地域包括支援センターとの連携

- ・介護保険等の申請が必要と考えられる場合は関係機関へ円滑に引き継ぎを行った。
- ・相談記録等は域包括支援センターシステムに速やかに入力した。
- ・福生市在宅高齢者のためのサービス等の申請代行依頼を行った。

●その他必要と認められる業務

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	Total
戸別訪問等 実績	416	442	445	460	302	422	524	403	417	429	375	298	4933
うち連携数	58	62	50	61	58	63	71	70	80	64	65	62	764

2024 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第3サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告（総括）

1. 中長期経営計画

(1) 福陽会の基本理念を毎朝唱和する事で、全職員が基本理念を基本としたサービス提供に努めた。利用者様を始め、ご家族様、地域の皆様と共に大きな家族として「こころある介護」を行うことができた。

(2) 中期基本方針

①利用者様、ご家族様、地域の方々から評価して頂けるサービス提供ができるよう、他部署で連携を取り、各部署風通しの良い関係性が構築できた。「こころある介護」を提供する事で、利用者様の笑顔を多く引き出す事ができた。

②業務検討委員会にて毎月の稼働率の報告を行い、各部署の所属長が経営に対する意識を持ち業務を行う事ができた。

③資格取得支援制度を活用し、新たな資格取得、内部、外部研修によるスキルアップ支援を行った。

④第3者評価を受け、透明性を確保した。

⑤新たな福祉ニーズに対応する事業については実施できなかった。

2. 基本目標

福陽会の基本理念については、毎日基本理念の唱和を行うと共に、理事長、統括施設長、施設顧問医師にご指導いただきながら、職員に対し理念、法人としての考えを伝える事で福陽会の職員としての意識向上を図った。新入職員については、入職時に統括施設長の思いが書かれた文章から福陽会基本理念について説明を行う事で基本理念の浸透に努めた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行う職員が増えている。

3. 基本方針について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図る事を目的として事業を行った。

(1) 利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員1人1人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れる為の環境作りに努めた。

(2) 「モノづくりカフェ」を開催し、地域の方達に施設を知っていただきながら、意見交換を行い、地域のニーズの把握を行った。

(3) 音楽ボランティアや傾聴ボランティア、慰問の方々にお越しいただき、ご利用者様に季節感を感じていただけるよう行事を開催した。

4. 2024 年度の重点目標

法人理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を念頭に、理事長、統括施設長、施設顧問医師のご指導の下、ご利用者様、ご家族様に「第3サンシャインビルに来て良かった」と思ってもらえる施設を目指し取り組みを行いました。2024年度の稼働率に関しては、特養稼働率99%、ショートステイ80%を目標としましたが、特養の稼働率が98.24%、平均介護度は4.2、ショートステイの稼働率が48.55%、平均介護度は2.5となり、今年度は特養、ショートステイ共に目標は達成できませんでした。特養に関しては入院、退所者が例年に比べ多かったことが原因として考えられます。ショートステイに関しては月によって稼働率に変動がある為、繰り返しご利用いただける体制が必要と考えます。今後も営業活動、ホームページ等で施設の活動やショートステイの魅力をアピールし、選ばれる施設となるよう努めていきます。

ご利用者様のサービス向上に関しては、日頃のご利用者様との関わりや、利用者懇談会を通して意見を聞きました。意見の中で外出したいとの声が多くあり、感染対応に留意した上で河口湖や川越等遠方への外出レクを再開しました。3大行事に関しても季節感を感じていただけるような装飾や食事の提供、慰問の方や職員の催し物を披露するなど盛大に行い、法人理念である季節感のある行事を実施することができました。

職員支援に関しては、資格取得支援制度を推進し、介護福祉士、介護支援専門員の受講する職員を応援し、今年度は介護支援専門員の受講者が増加しました。内部研修に関しては介護職員が中心となって自主的に学びたい講義内容を決め、職員が講師となる事で充実した研修が行えました。外部研修に関しては参加する職員に偏りがあった為、次年度はより多くの職員が参加できる体制づくりに努めていきます。また、施設顧問医師による衛生委員会、感染症委員会を通して職員の健康や感染状況などの情報を学び、職員が心身共に健康を保ち業務を遂行することができました。

地域交流に関しては、昨年度同様、日の出町の福祉事業所が共同で行う「ハートワークフェア」、東京都社会福祉協議会による「つながれ ひろがれ ちいきの輪」へ参加しました。「ハートワークフェア」では他の福祉事業所と協力し、地域の方達へ福祉の魅力を発信しました。「つながれ ひろがれ ちいきの輪」では、「モノづくりカフェ」を開催し、地域の方々を施設に招き、利用者様達と共に押し花のしおり作成を実施しました。地域の方に施設を知っていただき、ご利用者様も地域と関わりが持て、良い機会となりました。また、今年度も近隣中学校の職場体験の受け入れや、介護福祉士を目指す学生の実習受け入れも行い、次世代の方達に向け、福祉の魅力を発信しました。

災害対策に関しては、当施設のBCPに添った内容を基に訓練を実施しました。引き続き訓練を重ね、BCPを改定していき、緊急時に対応できる体制を整えていきます。

看取り介護については年間 16 名の方の看取り介護をさせていただきました。施設顧問医師のご指導の下、職員が一丸となり、ご利用者様、ご家族様からのご意向を聞き取り、カンファレンスを通して職員間で情報共有を行いました。お一人お一人の状況に合わせた看取り介護を行い、ご家族様より感謝のお言葉を多くいただくことができました。

2. 職 員 構 成 3 月 31 日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
施 設 長		1	
副施設長		1	
顧問医師			1
産業医			1
事 務 長		1	
事 務 員		1	2
生活相談員		3(2)	1
介護支援専門員		2(1)	1
介護職員		24	37
医務	医 師		2
	看護リーダー	1	
	看護職員	3	3
機能訓練指導員	機能訓練指導員	1	
	P T		1
厨房	管理栄養士	2	
	調理員	4	4
保守管理・宿直	介助員	1	4

* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

委員会

会議は毎月第2木曜日とし開催した。理事長、施設顧問医師の指導、助言のもと、各部署が連携し委員会活動を円滑に行うことができた。

1) 業務検討委員会

法人の基本理念を基盤に、経営、人事、業務内容、次世代機器の導入検討等、各部署から議題を出し、改善に向け話しあった。各部署の状況を知ることでお互いの理解を深め、業務を円滑に行うことができた。

2) 全体会

1回/月開催し、施設運営の状況や連絡事項、各部署からの情報を共有し、施設全体で同じ認識を持ち業務にあたるよう努めた。施設顧問医師による衛生委員会・感染症委員会も同時開催した。

3) 入所判定会議

入所申込があった際には家族やケアマネなどから聞き取りを行い、速やかに判定会議が進められるよう準備を行った。申込者の状態を考慮しつつ施設顧問医師に意見を仰ぎ、判定を行った。

4) 看取り介護委員会

看取り介護宣言のあった利用者様とそこご家族が安心して生活できるよう、聞き取りや適宜カンファレンスを行い、最善のケアが提供できるよう努めた。ご家族様からは多数、感謝の言葉をいただくことができた。

5) 衛生委員会

職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと、労働者の健康管理に努めた。

衛生管理者等による施設内巡回を定期的に実施し、労働災害になりかねない箇所を検証し、職員が働きやすい環境整備を行った。また、職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。

6) 感染症委員会

基本的な感染症対策及び食中毒の内部研修を行い、職員の知識向上に努めた。

マニュアルに沿った演習も行い迅速な対応が出来るよう努めた。また、各業種でチェックリストを作成し対応の統一化を図った。

感染症発生時にはカンファレンスを開催し、各フロアに適した感染対応を検討し実施した。

7) 事故防止委員会

施設内外で発生したヒヤリハットやアクシデント、事故事例を取上げ、各ユニットで周知するよう注意喚起し事故防止に努めた。事故後のカンファレンスではより多くの発言を取り入れ、対策の検討とヒヤリハットを活用し事故防止に繋げられるよう努めた。

8) 栄養会議

体重測定の結果や食事摂取状況について情報の共有を行い、個々の食行動の問題や低栄養のリスクがある利用者様のケアの方法についての話し合いを実施し、対応の検討を行った。

9) ケース会議

利用者様から聞き取りを行い、その方のニーズや生活上・介護上の問題点、身心の状態を把握し、その情報をもとにケアプランを作成した。ケアプランに沿ったサービスを提供し、利用者様がより快適に生活できるよう努めた。

10) リーダー会議

月に一度、各ユニットより問題点や相談などを提議し、話し合いを行った。ユニットの現状や人員配置にも目を向け、各ユニット連携してご利用者様へより良いサービスを提供出来るよう努めた。また、リーダー同士意見交換を行い、ユニットリーダーの質の向上にも努めた。

11) 行事計画委員会

三人行事の際は感染対策に努めながら、慰問の方に来ていただき、楽しんで頂けるよう行事を企画し、実施した。また、毎月ユニットごとにレクリエーションを企画し、季節感のある行事を実施し、メリハリのある生活を送れるように努めた。

12) 内部研修委員会

職員が講師となり内部研修を開催し、様々な視点から学び、実務に沿った研修を実施することで職員のスキルアップにつなげることができた。

13) 褥瘡予防委員会

褥瘡アセスメント評価表を用いて皮膚トラブルのリスクの程度を計り、予防に努めた。

褥瘡発生者に関しては、褥瘡対策個別計画書を配布し現在の状況や対応の情報共有を行い、適宜ポジショニング等の検討を行い統一したケアを行えるよう調整した。また、管理栄養士と共に栄養面での対応策も検討した。褥瘡発生リスクが上がった利用者様に対しては適宜カンファレンスを行い、エアマットなどの使用を検討した。

14) 虐待防止委員会

施設全体で「虐待の芽」アンケートを実施し、虐待についての知識向上と認識共有、結果を評価し施設全体で情報を共有し、虐待防止に取り組んだ。

また、苦情拘束委員会、接遇委員会、内部研修委員会と連携を図り、虐待防止に努めた。

15) 苦情・拘束委員会

毎月、意見箱の意見、ご利用者様やご家族様等から直接受けた苦情に関して話し合い、今後の対応について検討した。委員会で話し合った内容については、職員に周知徹底した。身体拘束に関しては、拘束することなくご利用者様が安全に生活することができるよう話し合い、身体拘束ゼロを目指した。また、委員会の中でも研修・プリント配布をして、身体拘束について勉強する機会を増やした。その研修を通して何気ない行動も、もしかしたら身体拘束になってしまうのではないかと考えながらケアをすることで、より良いケアに繋ぐことができたと思う。今後も研修を継続して、より知識を深めていきたい。

16) 防災管理委員会

BCP（事業継続計画）の内容を見直し、災害時に予測される事態を各部署で列挙・検討した。BCPは適時見直すとともに、防災・防火体制の強化を図り、入居者の安心・安全を最優先とした施設運営に推進していく。また、今後も繰り返し訓練を行い、非常時にも冷静に対応できる体制を整える。

17) ボランティア委員会

感染症などの状況を踏まえながら、ボランティアの新規受入れや行事、レクリエーションが行えるように調整をおこなった。ボランティアの方々と交流を図ることで利用者様に少しでも楽しんでいただける時間を作ることができた。

18) 厨房会議

厨房内の衛生管理、業務内容の見直し、行事食の検討、利用者様の希望に沿った献立、調理技術の向上及びチームワーク等について協議し、改善に努めた。

19) 利用者懇談会

利用者様から施設に対する要望や希望などの聞き取りを行った。様々な意見や要望を聞くことができ、待遇の向上に繋げることができた。

20) 給食懇談会

月に1回実施し、献立の感想や食事の食べやすさ、食べ物の固さ、食べたい物など要望をお聞きし、献立や調理に反映させた。

21) 接遇委員会

1年間の目標として、挨拶をすることによって明るく働きやすい環境作りができるように取り組みを行った。

3カ月に1度の身だしなみチェック表を配布し、各ユニットのリーダー中心確認を行った。

各職員が接遇に注意し、施設全体で大きな身だしなみの乱れない環境改善が図れた。

ポスターの配布により接遇の大切さと接遇意識の強化に努めた。

22) 排泄委員会

リブドゥから定期的な研修を受け、適正なオムツ・パッドを選定しました。研修を通して、職員の排泄介助に対する意識の向上を図ることが出来ました。また、1人ひとりに合った適正なオムツ・パッドの選定を行う事でご利用者様の排泄に対する不快感の除去等を行うことが出来ました。

4. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

(1) あやめユニット

ご利用者様のご要望に耳を傾け、希望に沿ったケアを提供できるよう努めた。

外出レクやお誕生日会・季節の飾り作り等、その季節に合った行事を行い、利用者に楽しんで日常を送って頂くことが出来た。

職員間で情報共有し、一人ひとりに合った適切なケアをおこなった。また、ユニット内を清潔に保持することで、感染予防に努めた。

ご家族様の面会時には、積極的に日々のご様子をお伝えし、ご家族様との信頼関係を深めることが出来た。

(2) さゆりユニット

家庭に近い環境をつくり、在宅の生活ペースを把握し、個々に合った生活支援を実施した。

個々の既往歴や生活歴を把握し日々の様子観察をこまめに行い、体調変化等を早期発見出来るよう努めた。また、利用者台帳、サービス計画書、ケアプランを適宜確認し、適切なサービスを提供した。

ユニット内でレクリエーションの充実を図った。毎日リハビリ体操を行い、身体を動かすことに喜びを感じて頂いた。食べ物レクを多く行い、普段は食べない物を召し上がっていただいたり、作る喜びを感じて頂くことができた。

(3) さくらユニット

日々、利用者様とコミュニケーションを取り、趣味や好きな食べ物などをの聞き取りを行い、行事やレクリエーションに活かすことができた。また、信頼関係を気付くことで、不安に思っている事を話せるような環境を作ることが出来た。

他部署とも情報共有をはかり、利用者様の体調の変化や ADL の変化に早期発見し対応できるよう連携する事が出来た。

(4) みもぎユニット

利用者様との関わりを大切にし、細目な声掛けを行うことで日々の心身の変化に留意し、利用者様に寄り添うケアを行いました。

11月に江戸東京たてもの園へドライブに行きました。園内を探索し、昔ながらの建物を見て懐かしそうにされ、楽しんでいただけました。

職員間で情報共有や意見交換を活発に行いました。ケアの方法や環境の整備を行い、利用者様に寄り添うケアを行うことが出来ました。

2) 3F 事業報告・活動報告

(1) すみれユニット

利用者様と密にコミュニケーションを取ることで信頼関係を築くことが出来た。その結果、施設での生活に対する希望等を聞き取り、支援に繋げることが出来た。

利用者様からの希望を元に、富士山を見に河口湖まで外出を行った。ほうとうを食べ、雪化粧をした富士山を見ながら河口湖を散策した。笑顔も多く見られ、楽しんでいただくことができた。

連絡ノートを朝の申し送り時に出勤者で確認を行うようにした。その結果、職員間で共通した支援を実行することが出来ている。

(2) つばきユニット

利用者様に小まめに声かけを行い、傾聴や様子観察に努めた。その結果、体調不良等の早期発見、早期対応ができた。信頼関係を築く事で、職員に気軽に声をかけやすくなり、訴えや希望を汲み取ったケアを提供することができた。

秋には利用者様へのアンケートをもとに、河口湖へのドライブレクを行った。富士山など、きれいな景色を見てもらう事ができ、大変喜んでいただけた。

整容支援については、出来る限りご自身で行ってもらようよう促し、ADL の維持が出来るよう努めた。

(3) つつじユニット

毎日の声掛けやコミュニケーションから、利用者様の希望や心配事を傾聴し、ケアにつなげる事が出来た。また、ターミナルの方が穏やかに生活できるよう、ご家族の希望等も組み入れながらケアをおこなった。

申し送りの徹底を図り、統一したケアができるよう努めた。また、状態変化があった際には他部

署への報告・連絡・相談を行い、迅速に対応することができた。

毎日リハビリ体操を実施した。また季節ごとの行事や余暇時間にはテラスへの散歩やカラオケ、音楽鑑賞や歌唱などを実施し、楽しんでいただくことができた。

(4) あじさいユニット

ターミナルケアの利用者様には、嗜好品の提供や過ごしやすい環境の整備をおこなった。また、身体的な苦痛を緩和するために、医務をはじめとした他部署と連携し、安楽に過ごせるよう努めた。

個々の利用者様の生活リズムの把握に努め、訴えや希望を傾聴し利用者様のニーズに沿ったケアをおこなった。また、他部署と「報連相」を密に行った結果、ケアの質の向上だけでなく、スタッフの負担軽減にも繋がった。

利用者様のケアについて、職員同士で話し合う場を設け、活発に意見交換を行った。

3) 4F 事業報告・活動報告

(1) ひまわりユニット

利用者様と信頼関係を築けるよう、こまめな声掛けや傾聴に努めました。

ユニット職員、他部署との情報共有をこまめに行い、利用者様の状態の把握、早急な対応を常に行い、個々のケアを統一して行えるように努めました。

季節を体感して頂けるように、ドライブレク等を実施しました。

ユニット内の環境整備に努め、快適な生活環境を心掛けました。

(2) コスモスユニット

YouTube 動画を有効活用し、毎日リハビリ体操を実施しました。時間になると自発的にフロアに集まる利用者様もいるほど定着しています。

初詣やドライブなどの外出レクを実施し、利用者様に楽しんでいただくことが出来ました。次年度は、施設内でのレクに力を入れたい。

朝の申し送り時に情報共有を行い、統一したケアができるよう努めました。

毎月のカレンダーや、ユニット内の装飾、写真展示など季節感を感じて頂けるよう環境整備を行いました。

4) 移動理美容

理容が第4月曜日の月1回、美容が第1金曜日の月1回行っている。

利用者様、ご家族様の希望により、理容・美容を選択して利用していただいている。

5. 厨房事業報告

1. 栄養ケアマネジメント

(1) 施設顧問医師による指導を受け、利用者様の身体状況の管理、療養食の提供を行った。

(2) 喫食量の把握、嗜好調査の実施、ケアプランの作成、評価などを行い、利用者様一人一人に合った栄養ケアを提供した。

2. 食事

(1) 旬な食材を多く使用して季節感のある食事提供を試みた。

(2) ソフト食提供し、嚥下調整食が必要な方でも目で見て楽しめるような食事を提供した。

(3) 毎週日曜日は雑炊を提供した。

(4) 毎週金曜日はパン、または麺を提供した。

(5) 七草粥や鏡開き、小正月、春の彼岸、夏至、土用の丑の日、重陽の節句、十五夜、秋の彼岸、冬至、年越しそばなど、暦に合わせた食事を提供した。

(6) 季節感のある行事食やイベント食といった特別な食事を月に1回以上提供した。

(7) 行事食は盛付けの工夫やカードの装飾などを行い、見た目も楽しんでいただけるようにした。

(8) おやつに関わるレクを月4回以上実施した。

(9) 各地方の郷土料理を取り入れ、月に1回以上提供した。

(10) 調理員が主催するイベントを年2以上回実施した。

(11) 厨房会議を月に1回以上行い、意見を出し合って意識の統一を図った。

3.衛生

(1) HACCPに沿った衛生管理と大量調理衛生管理マニュアルに基づいた食事提供を行った。

(2) 食品衛生や感染症に関する勉強会を月1回以上行い、厨房職員の知識と意識の向上を図った。

4.非常食

(1) BCPに基づき、4日分の非常食と水、使い捨て食器の備蓄をした。

(2) 非常食や水、使い捨て容器の備蓄を定期的に確認し、円滑な提供が出来るように整備した。

6. 医務室利用者健康管理報告

総括

ご利用者様の生活に寄り添い、ご利用者様とご家族様の望む生活が送れるよう日々援助していく。そして、ご利用者様の言葉に耳を傾け、日々の変化の中でご利用者様が何を望んでいるのかを考え、ご利用者様、ご家族様の気持ちが反映できるような看護を行っていく。

状態異常時は健康を害する原因を考え、医師との連携をスムーズに行い早期に医療を開始できるように努めていく。また、ご本人様、ご家族様の思いを抽出し、生活の自立性や満足度が損なわれない医療が提供できるように努めていく。

異常発見時は、医師へ上申し早期に医療介入を行った。そして、ご家族様に状態の報告を行い相談員とともにご家族様の希望が添えるようケアを行った。また、ターミナルなどで生活の質を上げていくために、ご家族様の思いを抽出し、他部署と連携してその想いをケアに反映させていった。医療の介入は生活を阻害する側面も持っている為、ご利用者様が何を望むのか考え、その人らしい生活の中で最期が看取れるような看護を実践していくことを今後の目標とする。

フロアナース制を施行し5年が経過。その成果か担当ナースの持つ情報も個別性が増すようになってきている。情報をもとに個別性のあるケアを作成し、個人の生活にあったケアを形成させていくことを、引き続き今後の目標としたい。看護間での情報共有はショートカンファなどを通じある程度共有できていたが、発信されない情報もあったため、今後の情報収集の方法論を検討していく必要性も感じた。また、今年度も他職種間でも上手く連携がとれない場面もみられたことから、信頼関係を構築し、より密に情報共有できるよう努めていきたい。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4月	18名	2名	0名
5月	25名	2名	3名
6月	26名	2名	2名
7月	35名	4名	4名
8月	31名	4名	4名
9月	17名	5名	1名
10月	19名	5名	3名
11月	12名	1名	5名
12月	18名	3名	1名
1月	20名	3名	0名
2月	24名	4名	1名
3月	22名	3名	3名
	年間通院者数 267名	年間入院者数 38名	年間退院者数 27名

3月31日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	3名
点滴施行者	0名
血糖測定者	0名
在宅酸素使用者数	1名
常時、口腔・鼻腔内からの喀痰吸引が必要となる利用者	2名
褥瘡処置施行者	0名
褥瘡以外の皮膚処置施行者	7名
ターミナルケア対応者	10名
合計	29名

2024年度死亡退所者

入院先での死亡者	7名
施設内での死亡者	4名
施設内ターミナルケア対応 死亡者	16名
合計	27名

6. 医務室利用者健康管理報告

総括

ご利用者様の生活に寄り添い、ご利用者様とご家族様の望む生活が送れるよう日々援助していく。そして、ご利用者様の言葉に耳を傾け、日々の変化の中でご利用者様が何を望んでいるのかを考え、ご利用者様、ご家族様の気持ちが反映できるような看護を行っていく。

状態異常時は健康を害する原因を考え、医師との連携をスムーズに行い早期に医療を開始できるよう努めていく。また、ご本人様、ご家族様の思いを抽出し、生活の自立性や満足度が損なわれない医療が提供できるように努めていく。

異常発見時は、医師へ上申し早期に医療介入を行った。そして、ご家族様に状態の報告を行い相談員とともにご家族様の希望が添えるようケアを行った。また、ターミナルなどで生活の質を上げていくために、ご家族様の思いを抽出し、他部署と連携してその想いをケアに反映させていった。医療の介入は生活を阻害する側面も持っている為、ご利用者様が何を望むのか考え、その人らしい生活の中で最期が看取れるような看護を実践していくことを今後の目標とする。

フロアナース制を施行し、その成果か担当ナースの持つ情報も個別性が増すようになってきている。情報をもとに個別性のあるケアを作成し、個人の生活にあったケアを形成させていくことを、引き続き今後の目標としたい。看護間での情報共有はショートカンファなどを通じある程度共有できていたが、発信されない情報もあったため、今後の情報収集の方法論を検討していく必要性も感じた。また、今年度も他職種間でも上手く連携がとれない場面もみられたことから、信頼関係を構築し、より密に情報共有できるよう努めていきたい。

7. リハビリテーション報告

(1) 総括

令和6年度のリハビリにおいて利用者様の身体状況の把握、目標に合わせたリハビリの介入を心掛けた。また、利用者様の「笑顔」を大切にし、コミュニケーションをとりながらより多く笑顔と発語を引き出していけるように努めた。寝たきりの利用者様には声掛けをこまめに行いながら拘縮の予防を心掛けた。

年度途中よりリハビリ助手が入職したことで、リハビリ回数の増加、生活リハでのストレッチなどの新しい介入ができた。また、リハビリ助手を主体のレクリエーション活動も積極的に行い、利用者様からも高い満足度を得ることができた。

他職種との連携を密にとり利用者様の情報共有に努め、身体状況に合わせた姿勢作りや褥瘡予防の為にポジショニングを行う事が出来た。

顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の身体状況、日常生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指した。

感染症の蔓延予防として利用者様が使用される物品の消毒、リハビリ介入時の手指消毒などの感染対策を考慮しながら機能訓練に努めた。

(2) 実施事項

- ①機能訓練計画書の作成・生活リハビリの作成
- ②関節可動域訓練
- ③筋力訓練・歩行訓練
- ④安楽な姿勢作りや除圧方法の検討
- ⑤利用者様とのコミュニケーション
- ⑥靴の選定
- ⑦エアーマット、センサーの管理
- ⑧LIFE 情報入力・バーセルインデックスの測定

(3) 結果

リハビリが2名対応となり、利用者様への介入の頻度も多くなり、利用者様の満足度も高くなった。また、生活リハでの運動、ストレッチ、手芸、運動を通じたレクリエーションなど新しい介入が出来た。一人一人の様々な形で介入でき、コミュニケーションも多くなることが出来た。他部署との連携を密にとり、利用者様が安心、安全に生活を送れるように努めた。定期的に利用者様のADLの値を測定し、状況に合わせた計画書を作成した。

(4) 課題

日常での運動機会を確保し拘縮、廃用症候群の予防に引き続き努めていく。

利用者様の安楽な姿勢作り、姿勢の保持に努め、誤嚥事故や皮膚トラブルの予防に努める。利用者様のADLを維持していき毎日を穏やかに笑顔あふれる生活が送れるよう支援していく。

8. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

・生活相談員報告

1、利用者様支援、多職種連携の調整役

福陽会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置している。日頃から利用者様の状態などを把握するために、介護現場職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署と細目に情報共有をしている。またご家族からも利用者様の情報を集めて、各部署へ発信し、お一人おひとり利用者様の環境を整えていくよう努めた。生活相談員がユニット内を回り、利用者様への声掛けや職員から情報を集め、利用者様のご様子を確認することでご本人のニーズを把握した。その情報を元に多職種でアプローチできるよう調整を行い、解決できるよう支援を行った。また、利用者懇談会を毎月第3週の火曜日に行い、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けてきた。話をすることで今まで見えなかったものが見えてきて、ニーズに合わせたケアが出来たと思われる。ターミナルケアに関しては引き続き細かく、多職種で話し合いをしてケアに当たるよう努めた。利用者様はもちろんのこと、ご家族のケアにも重点を置いて取り組んだ。居室にソファや簡易的なベッドを用意して、ご家族の宿泊支援を行うなど、死に対する心の準備に寄り添ったケアが出来たと思う。今年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有を行い、利用者様、そしてご家族へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は看護職員と生活相談員で行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底し、より良い多職種連携のシステムを作っていきたい。

2、ご家族様、施設間調整

施設と利用者様、ご家族様との橋渡し役と考え動いてきた。利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族との関係調整役として動いたことで、それぞれのご家族より安心して利用者様を任せていただけた。今までと同様、担当相談員より細目にお電話をするなどして情報共有することで、信頼関係を今まで以上に築くことが出来たのではないかなと思う。今後もご家族への連絡等をしっかり行い、安心していただけるよう努めていく。医療面のご家族への連絡は担当看護職員と生活相談員の二名で行う体制をとっている。看護職員から専門的な目線で話をすることでご家族も安心されている様子である。今後も細かく連携していきたい。

3、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方が相談にいらした時に、その方にとって当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、まずその人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、入所時には事前にご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有し、ケアに反映させた。

利用者様が施設へ入所する前の事前面接は、近隣の場合であれば制限があっても行うことができたため、今後も可能な限り、相談員と多職種にて事前面接を実施し、入所前の情報共有を進めていく。

4、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に、各フロアの相談員が職員のスーパーバイザーとなり、利用者様に対するケアや対人への対応等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役を担った。

5、営業について

営業活動の重要性を強く感じた。営業強化週間を1か月の間に設けて、電話での営業活動を行うように心がけた。担当地域を振り分けて担当地域の居宅介護支援事業所や老健、病院等に電話をした。営業を行うことで問い合わせや見学が増えてきている。また研修で知り合ったケアマネさんと親しくなり、調布への営業も定期的に行っている。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に一言付け加え、施設見学などは予約制ではあったが随時承り、施設の温かさをアピールすることに努めた。その結果、「温かい言葉に嬉しくなりました。」「他の施設ではここまでしてくれ

なかった。」等の声をご家族よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

*介護支援専門員事業報告について

① 入所前の情報収集について

入所前に、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。24時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていった。

把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

② ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族様・ご本人様に説明・同意をしていただいた。1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活が送ることができるよう新規プランを作成した。また、ADL等に著しい変化がみられた時には、カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成し支援できるように努めた。目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規入所に関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケア開始のプランに関してはカンファレンスを行い初回のプランを作成し、その後は状態の把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成した。

③ モニタリングについて

1か月ごとに月末評価としてモニタリングを行いご利用者様の状態を把握した。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。

またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

④ ケース会議について

毎月第2火曜日・第3火曜日・第4火曜日にケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をしてケース会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握しプラン作成に繋げた。ご本人の意向は担当介護支援専門員が、またご家族様のご意向は、担当相談員が事前に聞き取りを行い、ケース会議で発信することで、ご本人・ご家族も含めたケアプランを作ることができた。またケース会議のコーディネート・進行役として、各職種の専門性を尊重し、まとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

⑤ 介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に伝え、利用者のニーズに沿えるように注意を払った。今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めていきたい。

⑥ アセスメントについて

居室担当者が作成した介護のアセスメント表を、介護支援専門員が確認、添削をすることで、ご利用者様を見つめ直す機会が増えたように感じる。今後も確認、添削を行うことで、アセスメント力の向上を図り、より良くご利用者様を知るようにしていきたい。

*介護支援専門員事業報告について

①入所前の情報収集について

入所前に、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。24時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていった。

把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

②ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族様・ご本人様に説明・同意をしていただいた。1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活が送ることができるよう新規プランを作成した。また、ADL等に著しい変化がみられた時には、カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成し支援できるように努めた。目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規入所に関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケア開始のプランに関してはカンファレンスを行い初回のプランを作成し、その後は状態の把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成した。

③モニタリングについて

1か月ごとに月末評価としてモニタリングを行いご利用者様の状態を把握した。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かく観察を行った。

④ケース会議について

毎月第2火曜日・第3火曜日・第4火曜日にケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をしてケース会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握しプラン作成に繋げた。ご本人の意向は担当介護支援専門員が、ご家族様のご意向は、担当相談員が事前に聞き取りを行い、ケース会議で発信することで、ご本人・ご家族も含めたケアプランを作ることができた。またケース会議のコーディネート・進行役として、各職種の専門性を尊重し、まとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋がってきたい。

⑤介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に伝え、利用者のニーズに沿えるように注意を払った。今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めていきたい。

⑥アセスメントについて

居室担当者が作成した介護のアセスメント表を、介護支援専門員が確認、添削をすることで、ご利用者様を見つめ直す機会が増えたように感じる。今後も確認、添削を行うことで、アセスメント力の向上を図り、より良くご利用者様を知るようにしていきたい。

9. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

感染症の影響などにより、華道クラブのみ職員を中心に、ユニットごとで活動を行った。

② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華 道	根守 和子先生
茶 道	大野先生・森田先生
書 道	石井 亮子先生
音 楽	澤田 康次先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	3 回	参加延人数	57 名	平均参加人数	19 名	担当：井上
【活動報告】 1. 施設職員が講師となり、活動を行った。 2. 四季折々の花を自由に生け、素晴らしい作品を作ることができた。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4 月	活動なし		10 月	施設文化祭出展の作品		
5 月	〃		11 月	日の出町文化祭出展の作品		
6 月	〃		12 月	お正月用の作品		
7 月	〃		1 月	活動なし		
8 月	〃		2 月	〃		
9 月	〃		3 月	〃		
職員担当フロア：各フロア職員						

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：柴田
【活動報告】						
1. 感染症対応のため、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容			月	内容	
4 月	感染症対応の為、活動なし			10 月	感染症対応の為、活動なし	
5 月	〃			11 月	〃	
6 月	〃			12 月	〃	
7 月	〃			1 月	〃	
8 月	〃			2 月	〃	
9 月	〃			3 月	〃	
職員担当フロア：3F 東						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：清水
【活動報告】						
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容			月	内容	
4 月	感染症対応の為、活動なし			10 月	感染症対応の為、活動なし	
5 月	〃			11 月	〃	
6 月	〃			12 月	〃	
7 月	〃			1 月	〃	
8 月	〃			2 月	〃	
9 月	〃			3 月	〃	
職員担当フロア：2F 東						

音楽クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：清水
【活動報告】						
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった。						
【月別活動報告】						
月	内容			月	内容	
4 月	感染症対応の為、活動なし			10 月	感染症対応の為、活動なし	
5 月	〃			11 月	〃	
6 月	〃			12 月	〃	
7 月	〃			1 月	〃	
8 月	〃			2 月	〃	
9 月	〃			3 月	〃	
職員担当フロア：2F 西						

フラサークル

- ・ 感染症対応の為、活動は中止となった。

10. 年間行事実施報告

第3サンシャインビル 2024年度「年間行事計画実施表」

日 時	曜 日	行 事 名	内 容
4 月 20 日	土	観桜会	おやつにて食事提供を行い、武州唐獅子太鼓、職員によるフラダンスを実施。
5 月		運動会	ユニット単位で運動会を企画・実施。
7 月 13 日	土	納涼祭	慰問の方をお呼びして、各ユニット見学場所を分けて全体で実施。
8 月 30 日	金	夕涼み会	おやつにてアイスを提供。ユニット単位で催し物を企画・実施。
9 月 7 日	月	敬老会	各階ごとに敬老会を実施。慰問で大正琴の演奏を実施。
9 月 29 日	日	八幡神社例大祭	山車、お神輿に来て頂き、利用者様も楽しんで鑑賞される。
11 月 16 日	土	文化祭	三遊亭遊子様、オペラ歌手の慰問の方々をお呼びして披露していただいた。
11 月中		日の出文化祭	現地に少人数ずつお連れして、作品を鑑賞される。
11 月～12 月		ドライブレク	各ユニットにて企画し、少し遠い場所へのドライブレクを実施。
12 月		クリスマス会	ユニット単位でクリスマス会を実施。職員が催し物を行う。
12 月 27 日	金	餅つき	ユニット単位で餅つきを実施。出来た餅で鏡餅を作成し飾り付けた。
1 月 2 日	月	元旦式典	各階ごとに式典を実施。お囃子の方にも来て頂き、新年をお祝いした。
1 月 1・2・3 日		初詣	日の出町にある八幡神社へユニットごとに時間を分けて実施。
2 月 3 日	金	節分	ユニット単位で節分を行う。職員が鬼に変装し、豆まきを行う。
3 月		ひな祭り	ユニット単位でひな祭りを行う。ユニットごとにレクを企画して実施。
3 月		ひな祭り	ユニット単位でひな祭りを行う。各ユニットでひな人形等の装飾品を作って飾り、おやつ作りを行う。

11. 固定資産物品購入・入替報告

○介護職員室エアコン入替工事
○車いす体重計入替
○屋上空調配管部屋根取付工事

○医務室ルームエアコン入替工事
○パソコン入替
○屋上ヒートポンプ入替工事

○洗浄室エアコン入替工事
○ウォシュレット入替

12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

自治体への事故報告

	転倒・滑落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4月	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	1
6月	1	0	0	3	4
7月	2	0	0	0	2
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	1	1
11月	0	1	0	0	1
12月	0	0	4	0	4
1月	0	0	0	0	0
2月	2	0	0	0	2
3月	0	0	0	0	0
合計	6	1	4	4	15

アクシデント報告

	転倒・滑落	誤飲・誤食	表皮剥離・ 内出血	その他	計
4月	3	0	2	1	6
5月	4	0	4	0	8
6月	1	0	1	0	2
7月	1	1	4	0	6
8月	5	0	6	0	11
9月	4	0	9	1	14
10月	0	0	4	0	4
11月	1	0	4	2	7
12月	9	0	8	1	18
11月	3	0	4	1	8
2月	1	1	4	0	6
3月	2	0	6	0	8
合計	34	2	56	6	98

ヒヤリハット報告

4月	24
5月	15
6月	15
7月	17
8月	21
9月	26
10月	23
11月	18
12月	25
11月	39
2月	33
3月	33
合計	289

13. 職員研修報告

【外部研修】

研 修 日	研 修 内 容
4 月 13 日	管理栄養士・栄養士向け 2024 年度診療・介護報酬同時改定のポイント
4 月 18 日	誤嚥性肺炎を防ぐポジショニングと口腔ケア
7 月 4 日	令和 6 年度食品衛生実務講習会
7 月 26 日	認知症ケアを見直そう 5 ステップで学ぶ認知症の人への声のかけ方接し方
7 月 29 日	心不全の病態と栄養療法
8 月 16 日	これって疥癬？早期発見と初期対応のポイント
8 月 22 日	腎疾患=たんぱく制限ではない時代が来ている
9 月 5 日	施設ケアマネジメントの実力アップ講座
9 月 25 日～ 11 月 29 日	2024 年ユニットリーダー研修
3 月 3 日	令和 6 年度 第 9 回特定給食施設栄養管理講習会 給食施設における災害時の備え 防災対策の P D C A

【内部研修】

開 催 月	研 修 内 容
開催月	内部研修内容
随時	新人教育研修
随時	感染対応のシミュレーション
4 月	褥瘡予防について
5 月	身体拘束について
5 月	口腔ケアについて
6 月	看取り介護について
6 月	感染症について
7 月	事故防止・緊急時の対応について
7 月	入浴について
7 月	食中毒について
7 月	リブドゥ 排泄介助研修
8 月	ケアプランについて
8 月	リブドゥ 排泄介助研修
9 月	身体拘束・人権擁護について
10 月	感染症について
10 月	リブドゥ 排泄介助研修
11 月	食事について
11 月	リブドゥ 排泄介助研修
12 月	認知症について
12 月	虐待について
1 月	事故防止・身体拘束について
1 月	排泄介助について
2 月	プライバシーについて
2 月	看取り介護について
3 月	メンタルヘルスについて
3 月	接遇マナーについて

※毎月 福陽会理念に対する研修を行う

14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告

2024 年度は、感染症等の状況を踏まえながら、施設内での行事やレクリエーションの調整をおこなった。今後も利用者様に楽しんで頂けるよう、状況に合わせて調整をおこなっていききたい。

・2024 年度新規ボランティア活動登録者

押し花ボランティア …1 名

オカリナボランティア…2 名

15. 消防訓練実施結果

2024 年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、職員が集まって行う訓練を極力控えた。その中でも、BCP の内容を見直し、災害時に起こり得る事態を話し合う等、職員の実践的な対応力の向上に努めた。次年度は6年ぶりに地域の自衛消防訓練に参加する予定であり、実地訓練を通じて職員の防災意識と対応能力の向上を図っていく。

16. ショートステイ事業報告

★短期入所生活介護・短期入所介護予防生活介護

ショートステイの受け入れに関しては今までと同様、土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族の負担軽減を図るように努めた。ご家族やケアマネからは、使い勝手が良いと好評だったが、思うように稼働が伸びなかった。特養の利用者様の入院やご逝去が相次ぎ、特養入所を見据えたショートステイの利用者様が特養に移行してしまったケースが多くあったことも原因の一つであった。ケアマネを対象とした『ショートステイ見学会』を行ったことで、参加していただけた事業所の方からの問い合わせはとても増えたように感じる。今後も『ショートステイ見学会』だけではなく、『認知症カフェ』等の実施も検討し、より『選ばれる施設』を目指していきたい。

単発のショートステイの利用者様だけにとどまらず、特養入所を見据えた利用者様確保をして、稼働を大幅に戻していきたい。今後も施設の『使いやすさ＝売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めて行きたい。

令和5年度稼働率

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
19.3%	41.2%	40.6%	43.8%	76.7%	44.6%
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
50.9%	50.6%	58.7%	57.4%	40.7%	54.8%

2024 年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行ないました。

サービス提供時間数は本年度延べ 20,336 時間（前年度 20,156 時間）、派遣回数延べ 29,805 回（前年度 26,163 回）、月平均にすると 1697.2 時間（前年度 1679.6 時間）、2483.7 回（前年度 2180.3 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1162 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 96 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 478.5 時間、派遣回数延べ 832 回、月平均にすると 39.9 時間、69.4 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 41.5 時間、派遣回数は延べ 42 回、月平均では 3.5 時間、訪問回数は 3.5 回、利用者数は現在 0 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けました。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていきました。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの図り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めました。

講師を招いての研修会の機会を増やし、専門家からの指導を受けることにより、正確な知識を取り入れ対応につなげることで、ヘルパーの意識・技術の向上を目指しました。また随時個別指導を行ない連絡事項や対応の周知に努めました。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していきます。

また、関係各所や地域とのつながりを大切にし、皆様に選択していただける事業所となるために誠実に業務に携わっていきます。

また、書類整備・保管に係る業務負担の軽減のため、次年度には記録システムの導入を実現し、業務の効率化、情報共有の円滑化、サービスの質の向上を目指していきます。

(1) 中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様がヘルパーの利用に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 利用者に満足してもらえるサービスの提供において、ヘルパー個々の技術や知識に差があるため、質の高いサービスの平準化を目指している。介護福祉士資格の保有率増加により、加算の取得が可能になっている。
またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。正職員の増加によりサービス供給の安定がはかれた。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月24・25日	訪問先への責任者同行実施研修 高齢者虐待・接遇について	38
5月23・31日	感染症と食中毒の予防について BCP研修（ガウンテクニック）	38
6月25・27日	薬について（薬剤師による講義） ハラスメントについて	40
7月23・25日	熱中症対策について 看取りについて（24時間の対応方法）	37
8月22・27日	認知症について 災害発生時の対応 BCP訓練（備蓄の確認等）	38
9月24・26日	医療との連携について（薬剤師による講義「高齢者に多い病気の理解」） 事例検討	40
10月24・28日	プライバシー保護の取り組み 高齢者虐待について	40
11月28日	状況観察と緊急時の対応 心臓マッサージ・AED使用方法・窒息時の対応 （福生消防署熊川出張所署員による救命講習）	39
12月25・26日	事故発生及び再発防止について ヒヤリハット事例検討	39
1月23・28日	介護職員のコミュニケーションスキル 事例検討	37
2月25・27日	口腔ケア・排泄介助 BCP訓練（緊急時の連絡体制の確認） 事例検討	36
3月25・27日	職員倫理 法令遵守 令和6年度の振り返り 自己反省・自己評価	38

職 員 配 置

（2025年3月31日現在）

職 種	人 数	常 勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	5	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	38	（常勤兼務5名） 常勤12名 非常勤26名	

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人福陽会
サンシャインビラ介護学院
〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書目次

事業報告（総括）	1
地域別受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～4

事業報告

今年度の「介護職員初任者研修講座」は、受講生の申し込みの動向を確認しながら、3回実施した。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成するなど、グループワークの際も積極的に発言する様子がうかがえ、活気に満ちた研修内容であった。

また、新型コロナウイルスの影響で中止していた法人内施設実習を再開し、受講生には講義と演習だけで伝えきれない介護現場実際の様子を見ていただき、より有意義な内容となった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題とし、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

今年度 地域・年齢別受講人数一覧表

	第 1 回 R5/4/6～6/29	第 2 回 8/3～10/29	第 3 回 12/3～R6/2/25	合 計
福生市	0	3	0	3
羽村市	2(1)	1	0	3
青梅市	0	0	0	0
あきる野市	2	1	2(1)	5
昭島市	0	0	2(1)	2
立川	1	0	0	1
瑞穂町	0	0	0	0
武蔵村山市	0	1	0	1
東大和市	0	1(1)	0	1
八王子市	0	1	0	1
日野市	0	0	0	0
日の出	1	0	0	1
奥多摩	1(1)	0	0	1
国立	1	0	0	1
合計	8	8	4	20

※ () 内は男性

教育課程の実施報告

【募集手続き】

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または開講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

【科目の免除】

科目の免除についてはこれを認めない。

【修了の認定】

修了の認定は、すべてのカリキュラムを履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（100点を満点とする）

A＝90点以上、B＝80～89点、C＝70～79点、D＝70点未満

【公表する情報の項目】

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<http://www.fukuyokai.com>）において開示する内容は、以下の通りとする。

(1) 研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、
在籍講師数（専任・兼任別））

(2) 研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の

有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

令和 6 年度
事業報告書

社会福祉法人福陽会
サンシャインビラ介護学院
〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書

目次

事業報告（総括）	1
地域受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～6

事業報告

今年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、計画通りに4回実施した。

介護福祉士国家試験は、実務経験3年以上であることに加え、実務者研修の修了という受験要件であるため、限られた期間で受講を完了させようという受講生の強い意気込みを感じた。

各科目の講師は、一定時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当し、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

そして、受験対策直前講座は、内容の多くが試験活用でき、合計18名が参加して良かったと大変好評だった。特に職員は無料とした事で、多数の合格者輩出や職場のスキルアップに大きく貢献することができた。

また、サンシャインビラ介護学院における実務者研修は、卒業生や紹介による受講生が増えるなどだいぶ浸透すると共に、担当講師の情報交換・研修の活性化・レベルアップで、高齢者介護に対する知識・技術の向上を図り地域社会にも貢献することができた。

今年度地域・男女別受講人数一覧表

	第 1 回 6/4/1-9/30	第 2 回 6/5/1-10/31	第 3 回 6/8/29-12/28	第 4 回 7/1/1-6/30	合計
福生市	1	3(1)	1(1)	2	7
羽村市	0	0	3(1)	0	3
青梅市	3	1	2	4	10
あきる野市	3	2(1)	3(2)	2	10
昭島市	1	2	2(1)	1	6
立川市	1	0	1	0	2
瑞穂町	0	1	2	1	4
武蔵村山市	1	2	0	0	3
日の出町	0	0	0	0	0
日野市	0	0	0	0	0
奥多摩町	0	0	0	0	0
檜原村	0	0	0	0	0
八王子	1(1)	0	0	1	2(1)
練馬	0	0	0	1	1(1)
合計	11	11	14	12	48

※（ ）は男性

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実 践者研修	喀痰吸引等 研修
			1 級	2 級	3 級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだのしくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだのしくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	400

○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 教員 24 名
- (2) 事務員 1 名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

(入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

(入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。・運転免許証の提示・健康保険証の提示・パスポートの提示・年金手帳の提示・住民基本台帳カードの提示・在留カード等の提示・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から 10 分以上遅刻した場合は欠席とする。
また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で 6 ヶ月とする。

(受講の 取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね 1 割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

（修了の認定）

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしない事とする。認定方法については、以下の通りである。

- （1）添削科目については、科目ごとにレポート（課題）を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の4区分で評価した上で、C 以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。
- （2）介護過程Ⅲについては、講義・演習にて小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の4区分で評価した上で、C 以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、再試験、再評価を行う。
- （3）医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・ 基本研修（講義）：

レポート（課題）を提出し、担当講師が添削指導、評価を行う。修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の4区分で評価した上で、C 以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は必要に応じて添削指導、再試験、再評価を行う。

- ・ 基本研修（演習）：

省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

（使用教材）

研修に使用する教材は、以下の通りである。『介護福祉士実務者研修テキスト』中央法規出版株式会社全5巻セット

（修了者管理の方法）

修了者管理については、次により行う。

- （1）修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- （2）修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

（その他留意事項）

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。(3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2024年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	14	非常勤
夜間待機職員	6	非常勤
介護スタッフ	8	非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者	1		3	2	1	1		1		1		1	11
退去者	1	1		1		1		2	1	1	1	1	10

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
11	4	11	3	7

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	
第2サンシャインビラ入所	4
第3サンシャインビラ入所	1
転居・入院	4
死亡	3

【入居者の状況】（3.31現在）

介護度

（人数）

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
			8	14	8	4	2	36

男・女 年齢分布

（人数）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男		1	3	5	2
女				12	13
合 計		1	3	17	15

【年間行事実績】

催し	日程
マンションエントランス前で お花見	4/8
出前講座（フレール予防の運動）	6/28
マジックショー	3/15
短時間レク ボール蹴りと体操（B1食堂にて）	4/4, 12, 16, 19, 23, 30 5/3, 7, 14, 17, 21, 24, 31 6/7, 11, 14, 18, 25 7/2, 5, 9, 12, 19, 30 8/2, 6, 13, 23, 27, 30 9/10, 13, 17, 20, 24, 27 10/1, 4, 8, 11, 15, 18, 22, 25, 29 11/1, 5, 8, 12, 22, 26, 29 12/3, 6, 13, 20, 24, 27, 31 1/3, 10 2/11 3/25
カラオケ（B1食堂にて）	4/8, 15, 22, 29 5/6, 20, 27 6/10, 24 7/1, 8, 15, 22, 29 8/26 9/2, 9, 16, 23, 30 10/21, 28 11/4, 11, 18 12/9, 16, 23 1/2, 20, 27 2/10, 17, 24 3/3, 10, 17, 24
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/10 10/9
自然災害BCP訓練	4/10
感染症対応BCP訓練	10/9

【クラブ活動、その他】

毎週木曜日	体操、書道、折紙、工作等
毎週水曜日	移動スーパーとくし丸

令和 6 年度

事業報告書

介護福祉士養成奨学金貸付事業

社会福祉法人福陽会

【本事業の目的】

社会福祉法人福陽会に将来勤務を希望する有能な介護職員を確保・育成し、サービスの向上を図るために、介護福祉士養成奨学金の貸付を行うことを目的とします。

○令和6年度事業報告

今年度より開始された介護福祉士養成奨学金貸付事業ですが、今年度は初年度ということもあり、奨学金貸付の実績はありませんでした。

今年度は、東京都青梅市根ヶ布にある多摩リハビリテーション学院専門学校のサポーター制度に加盟し、サポーター法人として、多摩リハビリテーション学院専門学校の学生に制度の普及に努めました。

来年度は、法人ホームページを活用する等、奨学金貸付制度をさらに普及させ、新たな介護人材の確保に努めます。